

A large, irregular teal shape with a small notch at the top left, serving as a background for the chapter title.

第 3 章



3-1 快適な都市環境の保全・創造

良好な環境が保全され、うるおいのある自然環境や都市のみどりのもとで、心豊かな暮らしができるよう取り組みます。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進めます	1事業
①環境教育・学習の推進	
②環境に関する啓発活動の推進	
環境政策の推進	環境部 環境政策課
(2)自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます	11事業
①公園緑地の整備・充実	
②都市緑化の推進	
③農地の保全・活用	
④多様な生物の生息空間の保全・創造	
⑤環境美化活動の促進	
農業振興事業	都市活力部 産業振興課
美化啓発事業	環境部 美化推進課
公園運営事業	環境部 公園みどり推進課
堆肥化事業	環境部 公園みどり推進課
緑化事業	環境部 公園みどり推進課
自然環境保全事業	環境部 公園みどり推進課
河川関連業務	都市基盤部 基盤管理課
水路施設整備事業	都市基盤部 基盤保全課
水路施設管理事業	都市基盤部 基盤保全課
ホタル飼育・公開事業	都市基盤部 維持修繕課
水路の維持管理事業	都市基盤部 維持修繕課

(3)環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます	3事業
①環境汚染防止対策の充実・推進	
共同利用施設施設管理事業	都市活力部 空港課
空港周辺対策事業	都市活力部 空港課
環境保全対策の推進	環境部 環境政策課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	環境政策の推進	区分	継続
施策の方向性	(1) 環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進め	総合計画掲載ページ	68
担当部局・課	230100 環境部・環境政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○環境基本条例に掲げる4つの基本理念と6つの基本政策に沿った持続発展可能な社会を実現するため、環境基本計画で定めた環境目標の進捗状況をPDCAサイクルに基づき進行管理し、事業の推進を図ります。</p> <p>○環境基本計画と両輪の位置づけにある市民・事業者・行政の行動計画である豊中アジェンダ21の普及促進を行います。</p> <p>○環境の保全等に関する情報発信の拠点施設である環境交流センターの運営・管理を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○【拡充】「第3次豊中市環境基本計画」の中間見直しを行うとともに、年度評価書「とよなかの環境」を環境審議会を経て作成しました。</p> <p>○「地域循環型共生圏」の構築などを目的に、吹田市・能勢町と合同で「里山デイキャンプ」を実施するとともに、イベントでの燃料電池自動車の展示等、電動車の普及啓発を行いました。また、事業者・大学の協力のもと、交通環境学習「くるま大集合」を実施しました。</p> <p>○市民・事業者・行政の環境問題解決に向けての取組みの発表と交流、及び市民への環境問題の発信の場等を設けるため、「とよなか市民環境展」を「とよなか市民環境会議」等と共催で開催し、行動計画「第3次豊中アジェンダ21」の普及啓発を図りました。</p> <p>○【拡充】「第3次豊中アジェンダ21」の中間見直しに向けた検討の中で、「豊中アジェンダ21」について市民に広く知ってもらう機会として市民ワークショップや展示会を開催しました。</p> <p>○環境交流センターを起点に、地球環境保全等に関する活動のための交流の場の提供、情報の収集及び提供、講座の開催及び啓発などを実施しました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○環境を取り巻く情勢の変化をふまえ、新たな課題に対応すべく、環境に関わる取組みの指針として、「第3次豊中市環境基本計画（改定）」を策定しました。今後は、この計画に基づき、環境施策を推進していきます。</p> <p>○「とよなか市民環境展」等イベント時に環境問題を身近に感じてもらえるよう工夫をすることで、市民の環境問題に関する意識の向上につながりました。環境学習やイベント等の内容を適宜見直しながら、子育て世代等においても参加しやすく、環境意識の向上につながる場として発展させていきます。</p> <p>○来年度に予定している「第3次豊中アジェンダ21」の改定に向けて、市民ワークショップや展示会を開催し、環境に関する行動提案について意見を聞くなど、より市民目線で分かりやすい内容となるよう工夫しました。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	環境交流センター来館者数	環境報告書	人	9,822	11,900	15,763	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	とよなか市民環境展参加者数	環境報告書	人	691	1,682	2,232	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	「とよなか市民環境会議」構成団体数	担当課調査	団体	136	134	133	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	交通環境学習（教育）実施回数	担当課調査	回	0	0	1	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	環境基本法、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	環境基本条例、環境交流センター条例、環境審議会規則、第3次環境基本計画、第3次豊中アジェンダ21

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	45,596	人件費（参考）	34,830	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△5,286	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	40,310	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	36,467		地方債	0
	残額	3,843		その他 特定財源	67
	執行歩合	90.47%		一般財源	36,400

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		環境基本計画の推進【拡充】	10,208	0	0	10,208	01
	環境学習の推進【拡充】	1,767	0	0	1,767	01	生活環境費
	とよなか市民環境展【継続】	1,678	0	0	1,678	01	生活環境費
	豊中アジェンダ21の普及促進【拡充】	4,277	0	0	4,277	01	生活環境費
	環境審議会【継続】	458	0	0	458	01	生活環境費
	環境交流センター運営管理【継続】	16,130	0	0	16,063	01	生活環境費
	環境交流センター施設管理【継続】	1,949	0	0	1,949	01	生活環境費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	農業振興事業	区分	継続
施策の方向性	(2)自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	212000 都市活力部・産業振興課		
関連部局・課	233000 公園みどり推進課 400500 都市計画課 800100 農業委員会事務局		

事業概要	豊中市都市農業振興基本計画に基づき、都市農地の保全と活用を図る取組みを展開します。
------	---

当該年度の実績	<p>○農業の活性化と農地の持つ多面的機能の保全・活用を図りました。</p> <p>○市民農業体験事業として、さつまいもの栽培体験、玉ねぎの栽培体験を行いました。参加実績：たまねぎ 30組（大人54人 子ども40人）さつまいも 24組（大人45人 子ども27人）</p> <p>市と貸付協定を締結した市民農園開設者に対して運営費を助成しました。実績：農園数 21 農園 区画数 824区画 面積19,520㎡ 助成金額597,700円</p> <p>○市内の300㎡以上の農地にレンゲ等の草花を栽培し、開花時に市民を対象としたイベントの場や、児童等の体験学習の場として無償で花畑を開放した農地所有者に対し助成金を交付しました。実績：助成対象農地 8件 面積 16,436.49㎡ 助成金額421,302円</p> <p>○市民と農業者の交流の場とし、市民の農業に対する理解と認識を深めるとことを目的とした「農業祭」を開催し、豊中市産野菜等の直売等を実施しました。参加実績：3,000人</p> <p>○地産地消の推進を目的として、農業祭や朝市等で豊中市産の農産物の直売、学校給食等への地産物の出荷を行った市内の農業者に対しその費用の一部を助成しました。実績：助成対象者延べ49人、3農業団体 助成金額1,153,963円</p> <p>○豊中市農業経営者協議会及び農業協同組合等との連携・協働の強化により地産地消の推進、都市農業の啓発、緑地空間としての農地の活用を図りました。</p> <p>○農業施設等の導入により効率的な農業経営を目指すことを目的として、野菜等の栽培や出荷を行うために必要と認められる機材等の購入に対する経費を農業者に対して助成しました。実績：申請件数1件 助成金額46,000円</p> <p>○地域振興作物等を生産、販売した農家を支援しました。営農状況を把握するとともに、農業者に対して、国や大阪府の各種補助金等の制度の案内及び申請書の進達を行いました。</p> <p>○農地の基礎的保全活動や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化・保全管理構想の作成活動を支援する目的で、農業団体に対し交付金を支払いました。実績：申請件数1件 交付金額95,800円</p>
---------	---

当該年度の成果・課題	<p>○市民農業体験事業や市民農園事業を通して、市民の方に、都市における農業への理解を深めていただくことができました。</p> <p>○農業者の高齢化が進み、担い手不足と農地の適切な管理が困難となっているのが課題です。</p>
解決できた課題・今後の方向性	<p>○課題を解消するために、市民農業体験等の事業を通じて農業の担い手を確保するとともに、都市農地貸借法等を活用し、農業者と担い手のマッチングを行う等、農業を継続できる体制づくりに取り組みます。</p>

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	市民農園開設数	担当課調べ	農園	22	22	21	数値	26
	考え方、定義、算出方法など	「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」に基づき、生産緑地を市民農園としての開設を促す。							
2	目標	豊中市産農産物を利用した商品開発	担当課調べ	種類	0	0	0	数値	2
	考え方、定義、算出方法など	豊中市都市農業振興基本計画に基づくチャレンジプロジェクトの実現化							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市農業振興基本法・農地法・生産緑地法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市都市農業振興基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	11,325	人件費（参考）	12,960	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	11,526	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	394
	決算額	9,491		地方債	0
	残額	2,035		その他 特定財源	108
	執行歩合	82.34%		一般財源	8,989

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	農政事務【継続】	5,448	120	0	5,328	01	農業振興費
	市民農園【継続】	1,287	0	0	1,179	01	農業振興費
	花畑開放【継続】	491	0	0	491	01	農業振興費
	農業祭【継続】	654	0	0	654	01	農業振興費
	地産地消推進補助事業【継続】	1,154	0	0	1,154	01	農業振興費
	農業振興補助事業【継続】	84	0	0	84	01	農業振興費
	農業近代化施設等事業補助金【継続】	46	0	0	46	01	農業振興費
	経営所得安定対策【継続】	202	202	0	0	01	農業振興費
	農地維持共同活動支援事業【継続】	96	72	0	24	01	農業振興費
	都市農業振興計画【継続】	29	0	0	29	01	農業振興費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	美化啓発事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	70
担当部局・課	232500 環境部・美化推進課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市内におけるポイ捨てや犬のふん放置、美観を損なう屋外広告物の表示をなくし、美しいまちをつくるため、路上喫煙の防止を含めて「ポイ捨てなどをしない人づくり・しにくい地域づくり」のための取組みを推進し、快適な生活環境を確保していきます。</p>
当該年度の実績	<p>○路上喫煙禁止区域における周知啓発活動を実施するとともに、禁止区域内に設置している屋外分煙所の維持管理を実施しました。 ○美化推進重点地区における清掃活動（141回）及び周知啓発活動を実施しました。 ○これからの次世代を担う子どもたちに対し、環境美化意識の向上を図るため、環境美化ポスター（437点）・幼児図画（515点）の募集及び出前講座（3回）を実施しました。 ○市内一円で不法投棄物及び散乱ごみの処理を実施しました。 ○市内全小学校区内を見回る青色防犯パトロールを不法投棄防止パトロールとあわせて実施しました。 ○空き地の雑草の繁茂や不法投棄物等により適正に管理されていない場合に、雑草の除草や不法投棄物の撤去と再発防止を指導しました。（要望件数118件、改善件数113件） ○市と団体が地域清掃に関する役割について覚書を締結するアダプト活動団体（26団体）の支援を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○関係部局との連携や不法投棄防止パトロールなどを実施したことで、不法投棄廃家電の処分台数や市内11駅周辺の散乱ごみの減少につながりました。 ○路上喫煙禁止区域や美化推進重点地区での周知啓発活動、これからの次世代を担う子どもたちへの環境美化学習などの美化啓発事業を引き続き実施することで、「ポイ捨てなどをしない人づくり・しにくい地域づくり」のための取組みを推進していきます。 ○地域清掃活動調査や広報とよなかを通じて呼び掛けを行った結果、市と団体が地域清掃に関する役割について覚書を締結するアダプト活動団体は前年度より2団体増加しました。 ○地域清掃活動を行っている方々の高齢化が顕著となっていることで地域清掃活動の不活性化が懸念されるが、ホームページ等の広報媒体で市民・団体に向けて、地域清掃活動のPRを行っています。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	目標
1	参考	市内11駅周辺散乱ごみ調査	担当課集計	個	1.4	1.5	1	数値年	
	考え方、定義、算出方法など 100㎡あたりのごみの量（個数）＝散乱ごみ量（個数）÷面積（㎡）×100								
2	参考	路上喫煙禁止区域周知啓発活動	担当課集計	回数	76	85	244	数値年	75 当該
	考え方、定義、算出方法など								
3	参考	美化ポスター応募点数	担当課集計	点数	-	602	437	数値年	700 当該
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	アダプトシステム事業締結団体	担当課集計	数	24	24	26	数値年	25 当該
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	不法投棄廃家電処分台数	担当課集計	台数	63	38	33	数値年	
	考え方、定義、算出方法など 不法投棄された家電リサイクル法対象品（エアコン、テレビ、冷凍冷蔵庫、洗濯機）の処理台数								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市美しいまちづくりの推進に関する条例、豊中市屋外広告物条例、

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	18,393	人件費（参考）	96,620	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	18,393	財源内訳	国・府支出金	0
	決算額	11,377		地方債	0
	残額	7,016		その他 特定財源	60
	執行歩合	61.86%		一般財源	11,317

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	美しいまちづくりの推進に関する条例事業【継続】	254	0	0	254	01	美化推進費
	路上喫煙対策推進事業【継続】	4,694	0	0	4,694	01	美化推進費
	美化啓発行事【継続】	69	0	0	69	01	美化推進費
	子ども環境美化学習事業【継続】	504	0	0	504	01	美化推進費
	地域美化活動事業【継続】	4,988	0	0	4,988	01	美化推進費
	空き地管理指導対策事業【継続】	20	0	0	20	01	美化推進費
	パトロール事業と散乱ごみ・不法投棄対策事業【継続】	848	0	0	788	01	美化推進費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	公園運営事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	233000 環境部・公園みどり推進課		
関連部局・課	030000 危機管理課 211000 スポーツ振興課 211500 空港課 260100 財政課 262500 資産管理課 402500 開発審査課 430500 基盤整備課 431500 基盤保全課 432000 維持修繕課 53050		

事業概要	<p>○市民が安全で快適に公園を利用できる状態を維持するため、既存公園の機能保全・向上を目的とした再整備、一部改修及びその計画等を行います。また、施設の点検、植栽管理、許認可等による適正な公園管理運営を行います。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○本町3丁目、刀根山6丁目第2、東豊中1丁目第5、城山町1丁目第2、大門公園において、遊具改修工事を行い、城山町1丁目、服部南町1丁目、穂積南、庄内幸町2丁目、庄内西町2丁目、日出町公園において、園路等の公園施設のバリアフリー化工事を行いました。</p> <p>○千里中央公園、轟木公園、幸町公園において施設の改修工事を行いました。</p> <p>○千里中央公園において公民連携による再整備事業を実施するとともに、第2フェーズ以降の整備に向けた費用対効果分析や施設改修等の実施設計を行いました。</p> <p>○名神高速道路耐震補強工事に伴い、名神小曾根広場、名神浜児童遊園の撤去を行いました。また、NEXCO西日本へ土地の返還のため、名神学園前、名神穂積、名神稲津広場児童遊園については廃止工事を実施しました。</p> <p>○公園に関する開発許可関連事務では、都市計画法や土地利用に関する条例に基づく開発協議を行いました。</p> <p>○公園みどり総合情報システム事業では、公園管理の基礎となる都市公園台帳をデジタル化し一元管理を行いました。</p> <p>○土木工事積算システムの運用を行いました。</p> <p>○公園維持管理事業では、公園等の植栽管理、施設修繕、光熱費の支払や借地公園の借上げ等の維持管理を行いました。</p> <p>○公園施設維持管理事業では、公園等にある電気施設や遊具点検の実施、砂場殺菌等を行いました。</p> <p>○公園等自主管理協定制度事業では、公園での清掃活動等に関する協定を市と地域団体等で締結し、活動内容について役割分担をし、公園の運営を行いその活動に対して交付金を支払いました。</p> <p>○ふれあい緑地主催事業では、ふれあい緑地フェスティバルを実施しました。</p> <p>○ふれあい緑地施設管理では、植栽管理、施設修繕等、ふれあい緑地の維持管理を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○公園施設の更新に伴い、より安全性の高い施設を長期にわたって使用できる公園数が増えました。今後も計画にのっとり、継続して遊具更新を実施します。</p> <p>○施設のバリアフリー化工事により、身障者をはじめ多くの市民に利用し易い公園が増えました。既存施設の改修のため設計上の制約が課題となりますが、今後も継続的に公園の利便性の向上に取り組みます。</p> <p>○借地公園の廃止・土地返還により維持管理に係る負担を低減できる見込みです。</p> <p>○公民連携事業により公園の価値を向上させ賑わいを創出することができました。市民のライフスタイルの変化に伴うニーズの多様化に対応すべく、今後も公園の利活用がより一層図られるよう、公園それぞれの特性に応じた魅力ある公園づくりを行います。</p> <p>○公園施設やみどりを適正に管理することにより、利用者が快適でうるおいのある空間を市民に提供することができました。維持管理業務の多様化などにより、事務量が増大していますが、公園樹木維持管理方針に基づき、今後も計画的な公園樹木の適正な維持管理を行います。</p> <p>○都市緑地法に基づく買入れ申し出のあった、春日町ヒメボタル特別緑地保全地区内の土地2筆について、令和5年度に特別会計による先行取得を行います。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	7.17
1	目標	1人あたりの公園面積	担当課調査	m ²	7.09	7.11	7.12	数値	7.17
	考え方、定義、算出方法など	当該年度3.31時点の公園面積／翌日4.1時点の推計人口							
2	参考	開設公園数	担当課調査	箇所	479	479	479	数値	
	考え方、定義、算出方法など	当該年度3.31時点の公園数（都市計画公園+都市公園+児童遊園）							
3	参考	施設の改築・更新実施公園数（安全安心対策）	担当課調査	箇所	13	12	11	数値	
	考え方、定義、算出方法など	施設の改築・更新工事実施公園の数							
4	参考	自主管理協定箇所数	担当課調査	箇所	217	213	215	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市公園法 都市緑地法 都市計画法 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市都市公園条例 豊中市都市公園条例施行規則 地域住民団体による公園等の自主管理協定に関する要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	742,569	人件費（参考）		139,904
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）		248,423
予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	778,536	財源内訳の	国・府支出金		16,500
決算額	677,200		地方債		44,000
残額	101,336		その他 特定財源		3,059
執行歩合	86.98%		一般財源		613,641

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		公園安全安心対策事業【継続】	113,124	16,500	44,000	52,624	01
	公園整備・小改良事業【継続】	34,014	0	0	34,014	01	公園整備費
	公園維持管理事業【継続】	388,926	0	0	388,926	01	公園維持費
	公園施設維持管理事業【継続】	50,537	0	0	50,537	01	公園維持費
	公園等自主管理協定制度事業【継続】	10,300	0	0	10,300	01	公園維持費
	公園に関する開発許可関連事務【継続】	120	0	0	120	01	公園維持費
	公園みどり総合情報システムの運用【継続】	2,018	0	0	2,018	01	公園維持費
	土木工事積算システムの運用【継続】	817	0	0	817	01	公園維持費
	公園管理事務所施設管理【継続】	2,214	0	0	2,214	01	公園維持費
	公園管理事務所車両管理【継続】	2,401	0	0	2,401	01	公園維持費
	公園等有効活用事業【継続】	28,914	0	0	28,914	01	公園整備費
	公共用地先行取得事業（公園みどり推進課）【継続】	0	0	0	0	47	公共用地先行取得事業
	ふれあい緑地主催事業【継続】	3,824	0	0	765	01	公園維持費
	ふれあい緑地施設管理【継続】	39,991	0	0	39,991	01	公園維持費
	ふれあい緑地施設整備事業【継続】	0	0	0	0	01	公園整備費
	一般会計繰出金【継続】	0	0	0	0	47	他会計繰出金

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	堆肥化事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	233000 環境部・公園みどり推進課		
関連部局・課	232000 減量計画課 600500 学校給食課 900300 再資源・搬入課		

事業概要	<p>○持続的な循環型社会の形成のため、行政に率先垂範として、堆肥化施設「緑と食品のリサイクルプラザ」において、小学校の給食残渣と公園や街路樹の剪定枝チップを材料として、堆肥「とよっぴー」を製造します。出来上がった堆肥は、市民との協働等により、様々な資源循環啓発や環境学習等に活用します。</p>
当該年度の実績	<p>○市民等との協働によるイベント「とよっぴーフェスタ」「とよっぴー展」を開催しました。</p> <p>○緑と食品のリサイクルプラザの施設管理を行いました。</p> <p>○緑と食品のリサイクルプラザの車両管理を行いました。</p> <p>○堆肥「とよっぴー」を製造し、出来上がった「とよっぴー」を活用した資源循環啓発を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○イベントの開催により幅広い年代に向けて、地産地消や資源循環の啓発ができました。</p> <p>○堆肥「とよっぴー」を活用した「生ごみ堆肥化講習会」や「農体験」などの資源循環の啓発ができました。</p> <p>○引き続き市民との協働や委託等による資源循環啓発を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	堆肥「とよっぴー」配布量	担当課調査	トン	76	93	95	数値	
	考え方、定義、算出方法など	事業を協働する特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワーク提供							
2	目標	資源循環啓発学習会参加者数	担当課調査	人	649	797	1,401	数値	4000
	考え方、定義、算出方法など	講座型環境学習、農体験学習参加者数							
3	目標	生ごみ堆肥化・栽培講習会参加者数	担当課調査	人	152	207	276	数値	200
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	堆肥化施設見学者数	担当課調査	人	370	639	487	数値	500
	考え方、定義、算出方法など								
5	目標	とよっぴーフェスタ来場者数	担当課調査	人	0	0	350	数値	1000
	考え方、定義、算出方法など	事業を協働する特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワーク提供							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市環境基本条例 第3次豊中市環境基本計画 第2次豊中市みどりの基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	18,943	人件費（参考）		11,169		
	流用増減額 （予備費充当用含む）	2	公債費（参考）		1,917		
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	18,945	財源内訳の	国・府支出金		0	
	決算額	17,664		地方債		0	
	残額	1,281		その他特定財源		474	
	執行歩合	93.24%		一般財源		17,190	
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	生ごみ・剪定枝堆肥化事業【継続】	6,965	0	0	6,965	01	生ごみ・剪定枝堆肥化
	緑と食品のリサイクルプラザ施設管理【継続】	2,317	0	0	1,843	01	生ごみ・剪定枝堆肥化
	緑と食品のリサイクルプラザ車両管理【継続】	1,203	0	0	1,203	01	生ごみ・剪定枝堆肥化
	緑と食品のリサイクルプラザ主催事業【継続】	7,179	0	0	7,179	01	生ごみ・剪定枝堆肥化

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	緑化事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	233000 環境部・公園みどり推進課		
関連部局・課	230100 環境政策課 260100 財政課		

事業概要	<p>○潤いや安らぎあるみどりの創出及び保全を図るため、第2次豊中市みどりの基本計画の運用並びに進行管理を行うとともに、市民が取り組む緑化活動に対する支援や、緑化事業基金の活用等による緑化を推進します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○新たな緑化支援制度として「3軒から始まるご近所緑化支援制度」、「生垣緑化・沿道緑化助成金交付制度」を策定しました。</p> <p>○豊中みどりの交流会において「みどりのファールーム」、「みどりのつどい」などのイベントを開催しました。</p> <p>○市内全域のフラワーポットの見直しを行いました。</p> <p>○令和3年度（2021年度）に実施した緑被量等調査や市民意識調査の調査結果をもとに、第2次豊中市みどりの基本計画」の中間総括を実施し、今後の5年間の施策方針について取りまとめました。</p> <p>○「第2次豊中市みどりの基本計画」の計画目標及びモニター指標を用いて、施策に基づく事業の状況把握と評価を行いました。</p> <p>○「緑化事業基金」の積立及び取崩を適正に執行し、基金の管理を行いました。また、大口の寄附金の活用について、寄付者の意向も踏まえ検討を行いました。</p> <p>○花とみどりの相談業務を行うとともに、花とみどりの講習会や緑化リーダー養成講座を実施しました。また、豊中緑化リーダー会への支援や豊中緑化リーダー会との協働により緑化の推進と緑化に関する啓発を行いました。</p> <p>○花とみどりの相談所の施設管理を行いました。</p> <p>○花とみどりの相談所の車両管理を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○新たな緑化助成制度への市民の参加により、民有地緑化の推進につながりました。</p> <p>○イベントを市南部地区で開催したことにより緑化重点地区の緑化の推進につながりました。</p> <p>○駅前等におけるフラワーポットの再配置により、管理効率や視覚効果が向上しました。</p> <p>○「第2次豊中市みどりの基本計画」に基づく具体施策等を着実に推進することができました。引き続き、中間総括で取りまとめた施策方針に基づき施策を推進するとともに、PDCAサイクルを用いた進行管理を行います。</p> <p>○運用益金により、市民との協働によりみどりの活動を推進する場の「豊中みどりの交流会」及び市と協働で緑化活動を推進する「豊中緑化リーダー会」の活動を支援することができました。次年度以降には大口の寄附金を活用し、公園の一部について整備を実施します。</p> <p>○豊中緑化リーダー会の支援及び豊中緑化リーダー会との協働により、花とみどりに関する啓発や市内の緑化に寄与することができました。</p> <p>○緑化リーダー養成講座を実施することにより、地域で緑化活動を行う人材育成を行い、また、花とみどりに関する相談や講習会の実施により、花とみどりに関する啓発活動を行いました。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	みどり率	担当課調査	%	25.7	24.1	24.1	数値	27.0
	考え方、定義、算出方法など	直近の調査年度：平成27年度 みどり率：（樹林・樹木＋草地＋水面＋農地＋屋上緑化）／市域面積							
2	目標	緑被率	担当課調査	%	14.4	12.9	12.9	数値	15.7
	考え方、定義、算出方法など	直近の調査年度：平成27年度 緑被率：樹林・樹木／市域面積							
3	目標	緑化樹配布本数	担当課調査	本	2,303	3,270	2,064	数値	7000
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	豊中緑化リーダー会会員数	担当課調査	人	124	130	121	数値	136
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	寄付金額	担当課調査	円	3,383,617	6,999,671	14,093,032	数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市公園法「都市緑地法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	みどりの大阪推進計画
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市環境基本条例 第3次豊中市環境基本計画 第2次豊中市みどりの基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	94,680	人件費（参考）	47,432	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	97,681	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	82,072		地方債	0
	残額	15,609		その他 特定財源	14,797
	執行歩合	84.02%		一般財源	67,275

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		緑化推進事業【継続】	12,646	0	0	12,586	01
	花いっぱい運動事業【継続】	36,080	0	0	36,080	01	緑化費
	緑化事業基金事業【継続】	14,131	0	0	0	01	緑化費
	花とみどりの相談所一般事務事業【継続】	3,680	0	0	3,680	01	緑化費
	花とみどりの相談所施設管理【継続】	1,211	0	0	1,211	01	緑化費
	花とみどりの相談所車両管理【継続】	430	0	0	430	01	緑化費
	花とみどりの相談所主催事業【継続】	9,733	0	0	9,127	01	緑化費
	みどりの基本計画進行管理事業【継続】	3,244	0	0	3,244	01	緑化費
	みどりの交流会運営事業【継続】	917	0	0	917	01	緑化費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	自然環境保全事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	233000 環境部・公園みどり推進課		
関連部局・課	030100 危機管理課 230100 環境政策課 432000 維持修繕課 560500 警防課		

事業概要	<p>○市内に残された貴重な自然環境を保全するため、法令や市民との協働による森林や里山などの保全活動を行うとともに自然環境についての啓発を行います。そのほか、野生鳥獣に関する相談や有害鳥獣の捕獲許可申請事務等を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○コロナにより中止していたヒメボタル学習会・観察会を3年ぶりに開催しました。 ○市内の自然環境の啓発に関するイベントを111回開催し、4,306人の参加がありました。 ○風致保安林の整備工事のための調査・設計を行いました。 ○有害鳥獣の捕獲許可や相談事務等を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○ヒメボタル学習会・観察会の開催により、希少な自然環境の保全意識の啓発ができました。また、ヒメボタルが生息する「春日町ヒメボタル特別緑地保全地区」の保全を継続していく必要があります。 ○講座型や体験型など多様な自然環境学習の開催により、広い年代に向けて啓発ができました。 ○風致保安林の安全管理と保全のため、今年度を実施した設計に基づき、令和5年度に整備工事を行います。 ○野生鳥獣の相談や苦情対応により、野生鳥獣との接し方について啓発できました。 ○春日町ヒメボタル特別緑地保全地区について、整備や土地の買戻しが発生した際は、国費を活用しながら計画的に整備を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	自然環境啓発イベントの参加者数	担当課調査	人	1,578	2,524	4,306	数値	1500
	考え方、定義、算出方法など	ヒメボタル（学習会、幼虫調査）、自然環境啓発（AG）、島熊山（活動、観察会）、ふれあい学習							
2	目標	ヒメボタル学習会・観察会参加者数	担当課調査	人	0	0	94	数値	200
	考え方、定義、算出方法など								
3	目標	保護樹指定本数	担当課調査	本	137	135	133	数値	140
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	鳥獣に関する相談件数	担当課調査	件	689	731	818	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	鳥獣捕獲許可件数	担当課調査	件	80	133	109	数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市緑地法 森林法 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府環境農林水産行政事務に係る事務処理の特例に関する条例 大阪府地方分権推進制度 大阪地域森林計画
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市環境の保全等の推進に関する条例 第3次豊中市環境基本計画 第2次豊中市みどりの基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	15,995	人件費（参考）	20,979			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	26,170			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	15,995	財源内訳の	国・府支出金	388		
	決算額	13,964		地方債	0		
	残額	2,031		その他 特定財源	0		
	執行歩合	87.30%		一般財源	13,576		
	予算管理事業						
予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
ヒメボタル保全事業【継続】	2,299	0	0	2,299	01	生活環境費	
自然環境啓発事業【継続】	3,902	0	0	3,902	01	生活環境費	
自然環境保全事業【継続】	7,097	0	0	7,097	01	生活環境費	
鳥獣保護管理事業【継続】	666	388	0	278	01	生活環境費	
春日町ヒメボタル特別緑地保全地区 整備事業【継続】	0	0	0	0	01	特別緑地保全地区整備	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	河川関連業務	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	431000 都市基盤部・基盤管理課		
関連部局・課			

事業概要	○市の意見聴取が法的に義務付けられているため、河川法第24条の經由事務を行います。
当該年度の実績	○河川法第24条に基づき河川管理者が占用を許可する際には、本市における地域開発計画等との整合性や住民の生活環境への影響について、意見聴取が義務付けられており、26件の經由事務を実施しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○占用許可内容を確認することで、本市における地域開発計画や住民の生活環境を把握することができました。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	河川法許可申請經由件数	市政年監	件	18	29	26	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	河川法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	100	人件費（参考）	6,642	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	100	財源内額の	国・府支出金	0
	決算額	96		地方債	0
	残額	4		その他 特定財源	0
	執行歩合	96.00%		一般財源	96

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	河川施設維持管理事業【継続】	96	0	0	96	01	水路管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	水路施設整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	431500 都市基盤部・基盤保全課		
関連部局・課	431000 基盤管理課 432000 維持修繕課		

事業概要	<p>○老朽化した水路施設を良好な状況に保ち長寿命化対策を図るため、計画的に施設を更新します。</p>
当該年度の実績	<p>○水路施設小改良 箕輪第9号水路外の詳細設計委託や中央幹線水路転倒ゲートの点検を実施しました。</p> <p>○深井戸点検システム整備事業 平成27年度から令和元年度にかけて深井戸遠隔監視システムを構築したことから、全13か所の10年間の賃貸借契約を継続しました。</p> <p>○深井戸ポンプ整備 蛍池深井戸ポンプの整備工事を実施しました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○水路施設小改良 老朽化した水路施設の改修設計や点検整備を行うことにより、農業用施設の長寿命化が図られ、良好な機能保持ができました。 今後も老朽化した水路施設の改修や点検整備を行うことにより、農業用施設の長寿命化を図り、市内の限られた農空間の整備を実施します。</p> <p>○深井戸点検システム整備事業 農業用深井戸の運転状況等を把握することにより、施設の予防保全を実施し、ライフサイクルコストの縮減につながりました。 今後も深井戸ポンプの予防保全には必要な監視システムであるため、継続していく方向で検討を進めます。</p> <p>○深井戸ポンプ整備 深井戸ポンプを良好な状態に保ち、安定した農業用水の供給を行いました。 今後も農業用水の安定供給のため、地下水の取水施設である深井戸ポンプを良好な状態で維持管理します。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	水路施設改修箇所数	水路改修計画（案）	箇所	27	2	3	数値	3
	考え方、定義、算出方法など	豊中市管理水路現況調査委託の健全度評価に基づく施設更新が必要な箇所数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	40,135	人件費(参考)	9,396	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費(参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	32,633	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	32,630		地方債	0
	残額	3		その他 特定財源	0
	執行歩合	99.99%		一般財源	32,630

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		水路施設小改良【継続】	18,161	0	0	18,161	01
	深井戸点検システム整備事業【継続】	8,133	0	0	8,133	01	水路整備費
	急速ろ過施設再整備事業【継続】	0	0	0	0	01	水路整備費
	深井戸ポンプ整備【継続】	6,336	0	0	6,336	01	水路整備費
	二ノ切北深井戸改修事業【新規】	0	0	0	0	01	水路整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	水路施設管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	431500 都市基盤部・基盤保全課		
関連部局・課	431000 基盤管理課 432000 維持修繕課		

事業概要	<p>○水路施設及び親水水路を良好な状態に保ち長寿命化対策を図るため、適正な維持管理を行い計画的に施設を更新します。</p>
当該年度の実績	<p>○水路施設維持修繕 水路の相談を受け付け、調査し対応しました。 水路施設の機能保持のための修繕、改修を実施しました。</p> <p>○水利団体等関連事務 地元水利団体からの要望を受け付け、対応しました。 土地改良区の監事会、理事会、総会の事務支援を実施しました。</p> <p>○農業用施設管理 農業用施設（深井戸21か所、樋門及びポンプ16か所、池の曝気筒4か所）の設備の維持管理を実施しました。</p> <p>○農業用施設管理（財産区） 農業用施設（財産区から引継いだ深井戸の内7か所）の深井戸運転に伴う電気料金の支払い事務を実施しました。</p> <p>○急速ろ過施設維持管理 親水水路の新豊島川に原田処理場の処理水を送水する施設の修繕等の維持管理を実施しました。</p> <p>○親水水路緑道維持管理 親水水路における市民からの相談及び要望を受け付け、調査、対応しました。 親水水路景観施設の維持管理（園路、植樹帯等の清掃、植栽管理）を業務委託により実施しました。 親水水路施設の老朽化に対する修繕及び改修を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○水路施設維持修繕 水路施設を良好な状態にし、機能保持を図りました。 今後も水路施設の機能を保持し、市民の良好な生活環境を確保します。 市民からの通報や要望に対して、緊急度や優先度を総合的に勘案し、適切に対応します。</p> <p>○水利団体等関連事務 水利関連団体との情報共有、連携を図ることにより、水路施設を良好な状態に維持することができました。</p> <p>○農業用施設管理 農業用水の安定供給、水路の景観形成及び大雨の雨水排除、池の水質浄化ができました。</p> <p>○農業用施設管理（財産区） 財産区からの寄付金により管理している深井戸の管理を行い、耕作に必要な農業用水の安定供給ができました。</p> <p>○急速ろ過施設維持管理 親水水路の新豊島川に処理水の安定供給ができました。</p> <p>○親水水路緑道維持管理 市民に潤いのある生活環境を提供し、緑道の景観及び水と親しむ機会を与えることができました。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	水路要望受付件数	受付情報システム	件	46	54	36	数値	
	考え方、定義、算出方法など	水路に関する要望等の受付件数							
2	参考	親水水路要望受付件数	受付情報システム	件	16	21	20	数値	
	考え方、定義、算出方法など	親水水路に関する要望等の受付件数							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	74,620	人件費（参考）	28,755	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△242	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	79,116	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	64,768		地方債	0
	残額	14,348		その他 特定財源	2,101
	執行歩合	81.86%		一般財源	62,667

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		水路施設維持修繕【継続】	3,565	0	0	3,565	01	水路管理費
	水利団体等関連事務【継続】	1,080	0	0	1,080	01	水路管理費	
	農業用施設管理【継続】	8,831	0	0	8,831	01	水路管理費	
	農業用施設管理（財産区）【継続】	2,101	0	0	0	01	水路管理費	
	急速ろ過施設維持管理【継続】	9,707	0	0	9,707	01	水路管理費	
	親水水路緑道維持管理【継続】	39,484	0	0	39,484	01	水路管理費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	ホタル飼育・公開事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	432000 都市基盤部・維持修繕課		
関連部局・課			

事業概要	○ほたるのタペ開催のため、ヘイケ・ゲンジホタル幼虫の飼育を行います。
当該年度の実績	○開催3日間で6,090名が鑑賞に来られました。 コロナウイルス感染拡大防止策としてほたるのタペの開催を2020年2021年の2年間の中止していた為、例年より鑑賞者数も増加しました。 来年度のほたるのタペ開催にあたり、ヘイケ・ゲンジホタルの産卵と幼虫の飼育を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○来場者の駐輪場の確保が近隣では困難な状況にあります。 親水水路からのろ過供給ポンプも故障時に水が不足し飼育にも影響があります。 警備員を配置していますが、来場者数も増加傾向にあり増員も含め検討課題です。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	ほたるのタペ鑑賞者数	管理年報	人	0	0	6,090	数値	
	考え方、定義、算出方法など	2020・2021年度	コロナウイルス感染拡大防止の為中止						
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3,174	人件費（参考）	5,457	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	3,174	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	2,810		地方債	0
	残額	364		その他 特定財源	0
	執行歩合	88.53%		一般財源	2,810

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	ホタル飼育・公開事業【継続】	2,810	0	0	2,810	01	水路管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	水路の維持管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境	総合計画掲載ページ	69
担当部局・課	432000 都市基盤部・維持修繕課		
関連部局・課			

事業概要	○水路に係る様々な相談に対応するため、水路の機能保持に努め、市民の良好な生活環境を確保します。
------	---

当該年度の実績	○水路の維持管理のための、清掃、修繕、改修活動をおこないました。 水路敷の除草及び樹木剪定業務の委託を行いました。
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○一部委託により、コスト削減や職員の敏速で丁寧な市民対応による効率的な業務を遂行しています。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	清掃延長距離	管理年報	m	63,467	92,720	109,807	数値	
	考え方、定義、算出方法など	清掃延長距離						年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	26,569	人件費（参考）	53,706	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	26,569	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	25,552		地方債	0
	残額	1,017		その他 特定財源	123
	執行歩合	96.17%		一般財源	25,429

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	水路維持清掃【継続】	25,552	0	0	25,429	01	水路管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	共同利用施設施設管理事業	区分	拡充
施策の方向性	(3) 環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます	総合計画掲載ページ	70
担当部局・課	211500 都市活力部・空港課		
関連部局・課	263000 施設課		

事業概要	<p>○「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」に基づき、航空機騒音により生活が著しく阻害されている大阪国際空港周辺地域の住民の学習、保育、休養、集会の用に供するために設置した34か所の共同利用施設の維持管理を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○【拡充】庄内市民センターの移管を受け、33施設から34施設となった設備の保守点検、植栽の管理、施設の清掃・修繕、消耗品や備品の更新等を行いました。</p> <p>○大阪国際空港周辺地域整備構想や地域コミュニティ拠点施設の再整備プラン等に基づき、共同利用施設の設備の充実と再編方針について、騒音対策区域外の11施設の管理運営委員会に説明・意見交換を行い、記録を関係部局と共有しました。</p> <p>○共同利用施設1か所の空調機器を更新しました。</p> <p>○利倉センターの駐車場・ひろばを整備しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○共同利用施設の利便性が向上しました。</p> <p>○地域コミュニティ拠点施設の再整備プラン等に基づき、施設の再編方針について検討し、管理運営委員会との意見交換を進めます。</p> <p>○個別施設計画等に基づき、施設の建替えや大規模改修に向けた取組みを進めます。</p> <p>○学校やこども園の再編に伴う共同利用施設の移設等に向けた対応を関係部局と検討し、管理運営委員会への説明・意見交換を進めます。</p> <p>○リース契約を活用した施設の照明器具のLED化や空港周辺環境整備事業助成を活用したトイレの洋式化を計画的に進めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	目標
1	目標	利用者数（34施設）	担当課調査	人	53,778	67,123	111,604	数値	150,000
		考え方、定義、算出方法など						年	令和4
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位: 千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	103,488	人件費 (参考)		15,390		
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)		13,648		
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	107,796	財源内訳の	国・府支出金		0	
	決算額	96,998		地方債		0	
	残額	10,798		その他 特定財源		381	
	執行歩合	89.98%		一般財源		96,617	
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	共同利用施設施設管理【拡充】	76,226	0	0	75,845	01	共同利用施設費
	共同利用施設空調和設備更新事業【継続】	2,365	0	0	2,365	01	共同利用施設整備費
	共同利用施設改修事業【継続】	18,407	0	0	18,407	01	共同利用施設整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	空港周辺対策事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます	総合計画掲載ページ	70
担当部局・課	211500 都市活力部・空港課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○大阪国際空港周辺地域の住民の生活環境の改善を図るため、航空機騒音による障害の発生を防止又は軽減するとともに、騒音防止対策として各種助成事業を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○大阪国際空港周辺都市対策協議会（10市協）や全国民間空港関係市町村協議会（全民協）を通じて安全・環境対策の徹底、利便性の向上等について国や大阪国際空港の運営者等に要望しました。</p> <p>○遅延便の低減に向けた取組みの継続を関係機関に要望するとともに、遅延便取扱いのルール化と共通理解の形成に向けて、関係機関や地元住民との協議を2回実施しました。</p> <p>○航空機公害対策推進市民運動団体に対する活動費補助（8団体 1,314,366円）や空港周辺環境整備事業助成の活用により、空港周辺対策等の推進を図りました。</p> <p>○防音工事済み住宅の空気調和機器更新工事補助金の受付（4月～10月）と補助金を交付しました（随時）。補助件数85件 補助台数111台 補助額 2,663,624円</p> <p>○生活保護等世帯の冷房電気料金助成金の受付（11月～12月）と助成金を交付しました（2月）。助成件数 563件 助成額 4,657,758円</p>

当該年度の成果・課題	<p>○補助金・助成金の交付により航空機騒音による障害の軽減に寄与しました。</p> <p>○遅延便の大幅増に伴い、空港運営者等が示す新たな遅延便対策の効果を見極めながら、関係機関や地元住民と引き続き協議します。</p> <p>○生活保護等世帯の冷房電気料金助成制度について、電力会社の多様化や領収書の電子化に伴い、領収書の提出方法が課題となっているため、算出方法等の見直しを検討します。</p> <p>○引き続き住宅等への防音関連助成を着実に実施し、生活環境の改善を図ります。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	空気調和機器更新工事補助台数	担当課調査	台	107	109	111	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	生活保護等世帯の冷房電気料金助成件数	担当課調査	件	599	564	563	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律、空港法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	住宅の航空機騒音防止対策事業費補助金交付要綱
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市空気調和機器更新工事補助金交付要綱、豊中市生活保護等世帯空気調和機器稼働費助成金交付要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	12,611	財源内訳の	人件費（参考）	17,820
	流用増減額（予備費充当用含む）	0		公債費（参考）	0
	予算現額（当初+補正+繰越+流用）	12,611		国・府支出金	0
	決算額	9,197		地方債	0
	残額	3,414		その他特定財源	4,156
	執行歩合	72.93%		一般財源	5,041

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計(コード)	目	
	防音関連事業【継続】	7,579	0	0	3,423	01	生活環境費	
	空港周辺対策事業【継続】	1,618	0	0	1,618	01	生活環境費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	環境保全対策の推進	区分	継続
施策の方向性	(3) 環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます	総合計画掲載ページ	70
担当部局・課	230100 環境部・環境政策課		
関連部局・課	402000 （空港課）		

事業概要	<p>○事業活動によって発生する公害を防止するため、公害関係法令に基づき、工場・事業場への規制を行います。</p> <p>○大気汚染や河川の水質、航空機騒音や道路騒音などを調査し、豊中の環境の現状を明らかにするとともに、環境基準の達成状況を把握し公表します。</p> <p>○市民から寄せられる公害苦情の解消に当たります。</p> <p>○開発事業における環境負荷の低減等のため、取組みを実施します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○大気汚染防止法、土壌汚染対策法、大阪府条例などの公害関係条例に基づき、工場・事業場への規制を行うとともに、市民から寄せられる公害苦情の解決に取り組みました。</p> <p>○公共用水域の水質や有害大気物質、自動車騒音など、環境の現状を調査し、環境基準の達成状況を明らかにしました。</p> <p>○（仮称）南校整備に伴い、大気汚染観測局（千成局）を菟江公園に移設する計画を立てました。</p> <p>○開発事業等による環境配慮の協議や環境影響評価などの実施に伴う届出の受付を行いました。また、環境影響評価に関わり環境保全審査会を開催しました。</p> <p>○雨水の有効利用及び下水道施設への流出抑制を図るため、雨水貯留タンク設置に係る費用の一部を助成（助成件数13件、有効容量2,140ℓ、助成金額20,800円）しました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○大気汚染防止法、土壌汚染対策法、大阪府条例などの公害関係条例に基づき、工場・事業場への立ち入り検査及び指導を行うことができました。また、市民から寄せられた141件の公害苦情に対応することができました。今後も、多様化傾向にある公害発生源への指導及び啓発に取り組みます。</p> <p>○豊中市で環境基準達成状況は、航空機騒音を除き、ほぼ良好な状態を保つことができました。引続き監視を行います。</p> <p>○（仮称）南校整備に伴い、大気汚染観測局（千成局）を菟江公園に令和5年3月31日付けで移設完了することができました。</p> <p>○開発事業等による環境配慮の協議や環境影響評価などの実施に伴う33件の届出を受理することができました。今後も、環境配慮指針に基づき協議を進めていきます。</p> <p>○雨水貯留タンク設置助成金については、制度開始から16年経過し、市域で一定の需要者を満たしたと考え令和4年度で廃止します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	環境配慮協議件数	担当課調査	件	30	35	33	数値	
	考え方、定義、算出方法など	環境配慮協議件数						年	
2	参考	アセス計画、準備書件数	担当課調査	件	0	0	1	数値	
	考え方、定義、算出方法など	アセス計画、準備書件数						年	
3	参考	公害関係苦情受付件数	担当課調査	件	152	142	141	数値	
	考え方、定義、算出方法など	公害関係苦情受付件数						年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音・振動規制法、ダイオキシン類対策特別措置法、土壌汚染対策法、工場立地
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府生活環境の保全等に関する条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市環境の保全等の推進に関する条例、雨水貯留タンク設置助成金交付規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	70,004	人件費（参考）	70,065	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△729	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	89,251	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	3,212
	決算額	73,047		地方債	0
	残額	16,204		その他 特定財源	0
	執行歩合	81.84%		一般財源	69,835

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		環境保全条例推進【継続】	3,826	0	0	3,826	01
	雨水貯留タンク設置助成事業【継続】	210	0	0	210	01	生活環境費
	工場立地法関連届出業務【継続】	0	0	0	0	01	生活環境費
	大気汚染関係業務【継続】	36,942	3,212	0	33,730	01	生活環境費
	騒音・振動関係業務【継続】	4,200	0	0	4,200	01	生活環境費
	水質汚濁関係業務【継続】	5,920	0	0	5,920	01	生活環境費
	土壌汚染関係業務【継続】	107	0	0	107	01	生活環境費
	公害関係苦情処理業務【継続】	40	0	0	40	01	生活環境費
	公害関係窓口・相談業務【継続】	82	0	0	82	01	生活環境費
	測定局舎維持管理業務【継続】	21,720	0	0	21,720	01	生活環境費



3-2 低炭素・循環型社会の構築

市民一人ひとりが、環境にやさしいライフスタイルを実践し、協働して環境に配慮したまちづくりに取り組みます

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)低炭素社会の実現に向けた取組みを進めます	1事業
①省エネルギー化・再生可能エネルギー導入の推進	
地球温暖化防止対策の推進	環境部 環境政策課
(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	7事業
①廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクル(再生利用)の推進	
②廃棄物の適正処理の推進	
ごみ収集運搬事業	環境部 家庭ごみ事業課
ごみ減量推進事業	環境部 家庭ごみ事業課
ごみ減量推進事業	環境部 減量計画課
クリーンランド負担金	環境部 減量計画課
環境事業所施設管理	環境部 減量計画課
ごみ減量推進事業	環境部 事業ごみ指導課
産業廃棄物関連事業	環境部 事業ごみ指導課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地球温暖化防止対策の推進	区分	継続
施策の方向性	(1) 低炭素社会の実現に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	72
担当部局・課	230100 環境部・環境政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○2050年度までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする脱炭素社会の実現に向けて、市域における温室効果ガス排出量の抑制として、再生可能エネルギーの導入促進、一人ひとりの行動変容を促す普及啓発、カーボンオフセット等の事業を実施します。</p> <p>○市の事務事業から排出される温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた事業を行います。</p> <p>○「地球温暖化防止基金」の活用による二酸化炭素削減につながる取組みを推進します。</p> <p>○スマートハウス等支援補助金交付制度により、家庭部門の温室効果ガス排出削減を進めます。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○【拡充】「第2次豊中市地球温暖化防止地域計画（改定）」に基づき、自然体験学習プログラムの構築を行いました。</p> <p>○能勢町・隠岐の島町との「森林環境保全に関する自治体間連携協定」に基づき、カーボンオフセット事業、自然体験学習の実施などに取組みました。</p> <p>○【拡充】「第4次豊中市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を見直し、改定しました。また、電力の地産地消可能性調査を実施しました。</p> <p>○「地球温暖化防止基金」の積立及び取崩しを適正に執行し、基金の管理を行いました。</p> <p>○【新規】スマートハウス等支援補助金交付制度を創設し、省エネと創エネ、蓄電池の設置等に対する補助を実施しました。</p> <p>○「関連データ」の令和3年度の実績値は速報値となっています。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○構築した自然体験学習プログラムをはじめ、各種の環境学習を実施し、子どもや若年層をターゲットとした取組みを進めていきます。</p> <p>○「第4次豊中市地球温暖化対策実行計画」を見直し、市の事務事業における温室効果ガスの排出量削減に向けての方向性を明らかにすることができました。計画に基づき今後の取組みを進めていきます。</p> <p>○電力の地産地消可能性調査の結果をもとに、今後の事業実施に向け検討を進めていきます。</p> <p>○「地球温暖化防止基金」を活用し、引続き、自治体連携協定を締結している自治体とのカーボン・オフセット事業を進めます。</p> <p>○スマートハウス等支援補助金交付制度に基づく補助を行い、温室効果ガスの総排出量の抑制につなげました。家庭における温室効果ガスの削減についてさらに周知するため、省エネ家電買い替えキャンペーンなどにより、幅広い層の市民に対しての啓発を進めます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	1人あたり温室効果ガス排出量 平成2年度(1990年度)比	担当課調査	%	-16.5	-17.9	-	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	家庭部門市民1人あたりエネルギー消費量	環境報告書	GJ/人	14.2	13.9	-	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	目標	市役所の温室効果ガス総排出量	担当課調査	t-co2	32,729	32,124	-	数値	26271
		考え方、定義、算出方法など						年	令和9年度
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギーの使用の合理化に関する法律
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府気候変動対策の推進に関する条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	環境基本条例、環境の保全等の推進に関する条例、第2次地球温暖化防止地域計画（改定）、第4次豊中市地球温暖化対策実行計画

【決算説明情報】

（単位：千円）

予算・決算額等	予算額（当初）	72,612	人件費（参考）	27,135	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	5,727	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	81,339	財源内訳 の	国・府支出金	7,260
	決算額	62,771		地方債	0
	残額	18,568		その他 特定財源	12,273
	執行歩合	77.17%		一般財源	43,238

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 （コード）	目
地球温暖化対策実行計画の推進【拡充】	13,092	7,260	0	5,082	01	生活環境費
地球温暖化防止基金事業【継続】	10,374	0	0	0	01	生活環境費
スマートハウス等支援補助金【新規】	25,170	0	0	25,170	01	生活環境費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	ごみ収集運搬事業	区分	継続
施策の方向性	(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	73
担当部局・課	230500 環境部・家庭ごみ事業課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルをより一層推進していくため、第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画及びごみ減量計画に基づく取組みを推進します。</p>
当該年度の実績	<p>○分別収集事業では、市内全域をごみ種別に公民が分担して効率的なごみ収集運搬業務を行うとともに、リサイクル率の向上の取組みとして、ビン回収における専用回収容器の貸出し条件を緩和しましたことにより、貸出件数が令和3年度の561件から令和4年度は、1,189件に増えました。</p> <p>○ひと声ふれあい収集事業では、対象世帯の戸別収集を行うとともに、「ひと声」かけることで安否確認を行いました。</p> <p>○臨時ごみ収集事業では、効率的な収集作業を行うとともに、費用負担の公平性を図るため臨時ごみの手数料を改定しました。</p> <p>○ごみ収集委託業務では、委託業者の円滑な業務事務を推進するため、モニタリングを454回実施しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○ビン専用回収容器の貸出し条件を緩和したことにより、リサイクル協力世帯が増加し、リサイクル率の向上が図られました。今後も引き続き、リサイクル協力世帯を増やすために周知していきます。</p> <p>○ひと声ふれあい収集を実施することで、高齢者や障害者の在宅生活の支援につながりました。今後も引き続き、ひと声ふれあい収集に取り組んでいきます。</p> <p>○令和5年4月に臨時ごみの手数料を改定し、令和5年10月からの実施に向け市民に周知を行います。</p> <p>○モニタリングを実施することで、委託業者における質の高い公共サービスを安定的に継続することができました。今後もモニタリングを継続していきます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	
1	参考	リサイクル率	事業等報告書	%	16	16.3	16	数値	-
		考え方、定義、算出方法など						年	-
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,212,086	人件費（参考）	895,280				
	流用増減額 （予備費充当用含む）	3,769	公債費（参考）	0				
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,215,855	財源内訳の	国・府支出金	0			
	決算額	1,188,806		地方債	0			
	残額	27,049		その他 特定財源	28,497			
	執行歩合	97.78%		一般財源	1,160,309			
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
分別収集事業【継続】		14,478	0	0	14,478	01	ごみ処理費	
ひと声ふれあい収集事業【継続】		181	0	0	181	01	ごみ処理費	
臨時ごみ収集事業【継続】		11,594	0	0	628	01	ごみ処理費	
ごみ収集業務委託事業【拡充】		1,162,553	0	0	1,145,022	01	ごみ処理費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	ごみ減量推進事業	区分	継続
施策の方向性	(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	73
担当部局・課	230500 環境部・家庭ごみ事業課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクル（再生利用）を推進していくため、市民・事業者・行政による協働の取組みを進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○環境学習事業では、公立小学校40校及び公立こども園15園で環境学習を実施しました。 ○再生資源集団回収報奨金事業では、登録市民団体や登録行商者に対して、再生資源の回収量に応じた報奨金を交付しました。 ○ペットボトル分別収集事業では、ペットボトルのリサイクルを推進するため、市内245箇所での拠点回収を行いました。 ○粗大ごみ関連では、粗大ごみ受付センターによる粗大ごみ等の受付や粗大ごみ処理券の作成、粗大ごみ処理手数料収納事務にかかる受託者との調整を図るとともに、ごみの減量と粗大ごみの費用負担の公平性を図るため、粗大ごみの手数料を改定しました。 ○大規模建築物等における保管場所設置関連では、保管場所等の規模・構造・位置等の協議及び届出の指導並びに受理等を適正に行いました。 ○廃棄物減量等推進員活動支援では、地域に密着したごみの減量及び再生資源化を推進するため、市内の各地域から選出された廃棄物減量等推進員との協働による環境学習等の活動を実施しました。 ○分別周知事業では、ごみカレンダーの全戸配布や職員発意によるきめ細やかな分別周知、ソーシャルメディアを活用した効果的な情報発信を行いました。 ○小型家電リサイクル事業では、公共施設等25箇所に専用の回収ボックスを常設し、拠点回収を行いました。（拠点数25箇所） ○リユース事業では、廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクル（再利用）を推進するため、民間企業（株）マーケットエンタープライズ、（株）ジモティー）と連携協定を締結しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○環境学習を行うことで、幼少期から環境にやさしい行動を自ら実践できるよう3Rについての意識を高めることができ、引き続き3Rの意識向上のため環境学習に取り組めます。 ○再生資源集団回収報奨金を交付することで、登録団体が増加し、再生資源のリサイクル活動が推進されるとともに地域コミュニティの維持・活性化が図れました。今後も登録団体を増やす取り組みを進めていきます。 ○ペットボトルの拠点回収を行うことにより、分別行動の実践を通して、環境に関する市民意識の向上につながりました。今後も引き続きペットボトルのリサイクル推進を図ります。 ○令和5年4月に粗大ごみの手数料を改定し、令和5年10月からの実施に向け市民に周知を行います。 ○廃棄物減量等推進員との協働による環境活動を実施することで、地域と行政の連携を強化することができました。今後も廃棄物減量等推進員と協働し、環境活動に取り組めます。 ○効果的な情報発信を行うことで、市民サービスの利便性が向上しました。今後も引き続き効果的な情報発信を行います。 ○小型家電の拠点回収を行うことにより、分別行動の実践を通して、環境に関する市民意識の向上につながりました。令和5年10月から、処理施設等での充電式電池を原因とする発火事故を未然に防止するため、これまでの拠点回収に加えて、2週間に1回の定期収集を開始します。 ○民間企業と連携協定を締結することで、粗大ごみ等における積極的な民間活用を含めたりユースを促進できました。今後も民間活用をふまえた公民連携に取り組んでいきます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	ごみの焼却処理量	事業等報告書	トン	100,928	100,137		95,368	令和9年
	考え方、定義、算出方法など	豊中市伊丹市クリーランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量							
2	参考	公立小学校・こども園等環境学習実施件数	担当課調査	件	25	41	55		
	考え方、定義、算出方法など								
3	参考	廃棄物減量等推進員活動参加人数	担当課調査	人	146	181	138		
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	出前講座実施回数	担当課調査	回	2	1	4		
	考え方、定義、算出方法など								
5									
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	127,340	人件費（参考）	99,630	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△56	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	127,284	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	110,015		地方債	0
	残額	17,269		その他 特定財源	67,071
	執行歩合	86.43%		一般財源	42,944

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目
					(コード)	
環境学習事業【継続】	930	0	0	930	01	ごみ処理費
再生資源集団回収報奨金交付事業【継続】	26,460	0	0	11,398	01	ごみ処理費
ペットボトル分別収集事業【継続】	22,768	0	0	20,447	01	ごみ処理費
粗大ごみ関連【継続】	46,696	0	0	42	01	ごみ処理費
大規模建築物等における保管場所設置関連【継続】	8	0	0	8	01	清掃総務費
廃棄物減量等推進員活動支援【継続】	160	0	0	160	01	清掃総務費
分別周知事業【継続】	12,296	0	0	9,691	01	ごみ処理費
小型家電リサイクル事業【継続】	443	0	0	14	01	ごみ処理費
リユース事業【継続】	254	0	0	254	01	ごみ処理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	ごみ減量推進事業	区分	継続
施策の方向性	(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	73
担当部局・課	232000 環境部・減量計画課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルを推進していくため、市民・事業者・行政による協働の取組みを進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○【拡充】廃棄物関連計画の推進については、社会情勢等を踏まえ、第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画及び第4次豊中市ごみ減量計画を改定しました。</p> <p>○豊中エコショップ制度について、新たに20店舗をエコショップとして認定したほか、マチカネポイントを活用して周知・PRを図りました。</p> <p>○食品ロス対策として、フードドライブ事業では、社会福祉協議会をはじめ、(株)ダイエー、(株)光洋、生活協同組合コープこうべ協力のもと、多くの食品を子ども食堂等に届けることができました。また、市内事業者と協力し、てまえどりキャンペーンを実施しました。</p> <p>○プラスチックごみ対策として、NATS及び阪急電鉄と給水機設置にかかる実証実験を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○基本計画の改定に伴い、ごみ減量に関する新たな数値目標及び指標を設定することで、より効果的な進捗管理につながりました。</p> <p>○豊中エコショップについては、マチカネポイント付与事業により、認知度の向上を図ることができました。令和5年度もマチカネポイントを活用した一層のPRを図り、市民の行動変容を促進します。</p> <p>○フードドライブについて、市が事業所から社会福祉協議会への運送業務を担っており、引き続き業務改善に向けた検討が課題です。</p> <p>○NATS及び阪急電鉄との実証実験の結果を受け、各市の駅に給水機を設置することになり、マイボトル持参促進とプラスチックごみ削減につなげることができました。</p> <p>○新型コロナウイルスの感染が少しずつ落ち着き、人びとの外出の機会が増え、事業系ごみの増加が懸念されることから、令和5年度は、ごみを分解、減量、消滅又は堆肥化する処理機を新たに設置する事業者に対して、補助金を給付します。</p> <p>○様々なごみ減量施策の実施により、ごみの焼却処理量は年度目標を達成しました。今後も発生抑制の考え方を優先しつつ、アフターコロナによる社会状況の変化に応じた施策の実施により、廃棄される手つかず食品の削減やマイボトル持参促進によるペットボトルの削減等に取り組んでいきます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	令和9年度
1	目標	ごみの焼却処理量	事業等報告書	トン	100,928	100,137	98,338.49	数値年	95,281 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量							
2	目標	家庭系ごみ1人1日当たり量（再生資源除く）	事業等報告書	グラム	424	419	404	数値年	394 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ搬入量（再生資源除く）の1人1日当たり量							
3	目標	事業系ごみ量（再生資源除く）	事業等報告書	トン	37,432	37,244	37,897	数値年	36,601 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量（再生資源除く）の年度合計量							
4	参考	リサイクル率	事業等報告書	%	16	16.3	16	数値年	19.3 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	ごみの総量（再生資源含む）に対する家庭系及び事業系ごみのうち資源化されるごみの合計量の割合							
5	目標	食品ロス1人1日当たり量（推計値）	事業等報告書	グラム	111.9	111.5	110.1	数値年	108.8 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	13,611	人件費 (参考)	43,740			
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0			
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	13,611	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0		
	決算額	12,725		地方債	0		
	残額	886		その他 特定財源	0		
	執行歩合	93.49%		一般財源	12,725		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
廃棄物減量等推進審議会【継続】		592	0	0	592	01	清掃総務費
廃棄物関連計画の推進【拡充】		9,919	0	0	9,919	01	清掃総務費
エコショップ【継続】		1,429	0	0	1,429	01	清掃総務費
ごみ減量普及啓発事業【継続】		785	0	0	785	01	清掃総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	クリーンランド負担金	区分	継続
施策の方向性	(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	73
担当部局・課	232000 環境部・減量計画課		
関連部局・課			

事業概要	○一般廃棄物の中間処理を行うため、豊中市伊丹市クリーンランド規約に基づき、豊中市伊丹市クリーンランドへ負担金を支払います。
当該年度の実績	○豊中市伊丹市クリーンランド規約に基づき、豊中市伊丹市クリーンランドへ負担金を支払いました。

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	○豊中市伊丹市クリーンランドへ負担金支払い業務を滞りなく実施しました。
--	-------------------------------------

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考							数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、豊中市伊丹市クリーンランド規約

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,342,959	人件費（参考）	1,620	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,342,959	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	1,342,959		地方債	0
	残額	0		その他 特定財源	0
	執行歩合	100.00%		一般財源	1,342,959

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		クリーンランド負担金【継続】	1,342,959	0	0	1,342,959	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	環境事業所施設管理	区分	継続
施策の方向性	(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	73
担当部局・課	232000 環境部・減量計画課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○施設の長寿命化や快適環境を整えるため、定期点検・修繕等、維持管理を行ないます。 ○減量計画課、美化推進課、家庭ごみ事業課及び事業ごみ指導課に属する車両の安全運行を行なうため、定期点検・整備・管理を行ないます。</p>
当該年度の実績	<p>○定期点検・修繕等、維持管理を行ないました。 ○車両の安全運行を行なうため、定期点検・整備・管理を行ないました。</p>

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○水道関係の配管等に経年劣化による不具合箇所が多々見られるため、長期修繕計画の内容を再検討します。</p>
--	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考							数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	127,963	人件費（参考）	36,490	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	2,132	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	134,496	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	124,500		地方債	0
	残額	9,996		その他 特定財源	339
	執行歩合	92.57%		一般財源	124,161

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		環境事業所施設管理【継続】		31,824	0	0	31,817	01
	車両管理（ごみ処理費）【継続】		83,324	0	0	82,992	01	ごみ処理費
	車両管理（美化推進費）【継続】		4,456	0	0	4,456	01	美化推進費
	車両管理（清掃総務費）【継続】		4,896	0	0	4,896	01	清掃総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	ごみ減量推進事業	区分	継続
施策の方向性	(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	73
担当部局・課	233500 環境部・事業ごみ指導課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクル（再生利用）を推進していくため、市民・事業者・行政による協働の取組みを進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○「事業系一般廃棄物減量計画書」の提出を受け、立入調査を実施し、指導等を行いました。</p> <p>○市許可業者が豊中市伊丹市クリーンランドに搬入する一般廃棄物の展開検査及び目視検査を実施し、廃棄物の適正処理に関する許可、指導等を実施しました。</p> <p>○し尿処理受付後、円滑な業者調整を行い適正処理しました。また、伊丹市と処理委託について調整を行いました。</p> <p>○令和5年度し尿処理手数料の改定に向けて関係部局と調整を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○事業系ごみ減量の取組みについては、立入調査や研修会を通じ、事業所のごみ減量意識が高まりました。今後も引続き、事業所への立入調査や個別指導を実施するほか、事業系一般廃棄物の搬入物検査及び搬入物目視検査を充実させ、一般廃棄物収集運搬許可業者への適正指導に取組むとともに、事業所にとって2R（発生抑制・再使用）を推進する上で、取組みやすい事例やコスト削減につながる情報を提供し、ごみの減量を図ります。</p> <p>○し尿処理・運搬業務の取組みについては、一般家庭収集運搬及び事業所や工事現場の仮設トイレ等の臨時収集運搬を停滞させることなく、適正に処理できました。今後も、し尿の処理運搬について委託業者との調整や処理施設との調整を円滑に進めていきます。</p> <p>○令和5年4月にし尿処理手数料を改定し、7月からの実施に向け事業者へ周知を行います。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	ごみの焼却処理量	事業等報告書	トン	100,928	100,137		数値	95,368
	考え方、定義、算出方法など	豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量							
2	参考	事業系ごみ量（再生資源除く）	事業等報告書	トン	37,439	37,244		数値	
	考え方、定義、算出方法など	豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量（再生資源除く）							
3	参考	減量計画書提出件数	一般廃棄物減量計画書	件	302	300	302	数値	
	考え方、定義、算出方法など	当該年度に提出された減量計画書の件数							
4	参考	立入調査件数		件	0	0	83	数値	
	考え方、定義、算出方法など	当該年度に実施した立ち入り調査実施数							
5	参考	搬入物検査件数	搬入物検査	件	15	14	18	数値	
	考え方、定義、算出方法など	当該年度に実施した搬入物検査実施数							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	50,888	人件費（参考）	53,136	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	50,888	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	46,020		地方債	0
	残額	4,868		その他 特定財源	9,502
	執行歩合	90.43%		一般財源	36,518

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		し尿処理・運搬業務【継続】	45,738	0	0	36,518	01	し尿処理費
	事業ごみ減量対策事業【継続】	281	0	0	0	01	清掃総務費	
	一般廃棄物収集運搬業許可業者関係【継続】	1	0	0	0	01	清掃総務費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	産業廃棄物関連事業	区分	継続
施策の方向性	(2)循環型社会の構築に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	73
担当部局・課	233500 環境部・事業ごみ指導課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○生活環境の保全及び公衆衛生の向上を推進するため、産業廃棄物の適正処理に向けた取組みを進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○産業廃棄物の適正処理に関する指導、許可手続きを実施しました。 ○民間から発見された高濃度PCB廃棄物の処理契約について指導するとともに、環境省と情報共有を行いました。また、低濃度PCB廃棄物の処理促進についても行いました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に基づき、事業者が排出する産業廃棄物が自らの責任で適正に処理されるよう、関連する業務を的確に遂行しました。今後も引続き、事業者が排出する産業廃棄物が自らの責任で適正に処理されるよう指導等を行います。 ○市が保管する高濃度PCB廃棄物の処理完了を行うことができたとともに、事業者が保管している低濃度PCB廃棄物の処理促進についても行えました、今後も引続き、低濃度PCB廃棄物の適正処理指導を行います。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	マニフェスト報告	件	1,737	1,748	1,848	数値	
	考え方、定義、算出方法など	前年度に産業廃棄物を処分した事業者の件数							
2	参考	ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分状況等届出書	PCB届出	件	173	159	120	数値	
	考え方、定義、算出方法など	前年度にPCB廃棄物を保管等している事業者の件数							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	4,793	人件費（参考）	40,743	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	4,793	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	3,620		地方債	0
	残額	1,173		その他 特定財源	355
	執行歩合	75.53%		一般財源	3,265

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		産業廃棄物処理業許可事務等【継続】	3,528	0	0	3,173	01
	PCB廃棄物処理事業【継続】	92	0	0	92	01	清掃総務費



3-3 都市基盤の充実

快適な暮らしを守るために、道路・上下水道などの都市基盤の充実に取り組みます。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)安心して暮らせる市街地の形成を進めます	2事業
①災害に強いまちづくりの推進	
②上下水道の充実	
密集市街地等整備事業	都市計画推進部 都市整備課
耐震関連事業	都市計画推進部 建築審査課
(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり・交通環境づくりを進めます	14事業
①都市を支える道路の体系的な整備と長寿命化	
②人が主役となる安全で快適な道の整備	
③交通安全対策の推進	
用地買収事業	財務部 資産管理課
自動車駐車場施設管理事業	都市計画推進部 都市整備課
放置自転車関連事業	都市基盤部 交通政策課
交通安全整備事業	都市基盤部 基盤整備課
街路整備事業	都市基盤部 基盤整備課
道路橋梁新設改良事業(基盤整備課)	都市基盤部 基盤整備課
道路橋梁新設改良事業(基盤管理課)	都市基盤部 基盤管理課
道路管理事業	都市基盤部 基盤管理課
道路舗装事業(基盤管理課)	都市基盤部 基盤管理課
交通安全施設整備事業	都市基盤部 基盤保全課
道路橋梁新設改良事業(基盤保全課)	都市基盤部 基盤保全課
道路橋梁維持事業	都市基盤部 基盤保全課
道路舗装事業(基盤保全課)	都市基盤部 基盤保全課
道路の維持管理事業	都市基盤部 維持修繕課

(3)マイカーに頼らなくても移動できる交通体系の整備をめざします	1事業
①安全で利便性の高い公共交通網の整備	
②自転車の走行・駐輪環境の改善	
交通対策事業	都市基盤部 交通政策課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	密集市街地等整備事業	区分	継続
施策の方向性	(1)安心して暮らせる市街地の形成を進めます	総合計画掲載ページ	74
担当部局・課	401000 都市計画推進部・都市整備課		
関連部局・課	262500 資産管理課		

事業概要	<p>○庄内・豊南町地区における密集市街地について、住環境の改善と防災性の向上に向けた取り組みを進め、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進するため、整備計画に基づく道路・緑道等の公共施設整備や木造住宅等の除却補助等を行います。</p> <p>○神崎川駅周辺について地域の活性化などを図るため、令和3年度に策定した「神崎川駅周辺のまちづくりの方向性」をもとに、関係機関などと協議を行い、整備基本計画の策定に向け、検討を進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○大島町地区主要生活道路整備事業につきましては、用地買収4件、物件補償6件、拡幅工事L=25mを実施しました。</p> <p>○木造住宅除却費補助につきましては、119件、245戸に対して補助を行い、老朽した木造建物を除却し、防災指標の向上を図りました。</p> <p>○令和3年度に策定した「神崎川駅周辺まちづくりの方向性」を踏まえ、関係機関と協議し、令和5年度に策定予定している整備基本計画について取組みました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○大島町地区主要生活道路整備事業につきましては、引き続き積極的に沿道権利者との個別協議を進め、道路整備の完了を目指します。</p> <p>○木造住宅除却費補助につきましては、必要に応じて早期に危険密集が解消できるように制度を見直します。</p> <p>○神崎川駅周辺のまちづくり構想の具体化に向けて、関係機関と議論を重ね、地域住民などと意見交換を行いながら、令和5年度末の神崎川駅周辺整備基本計画の策定に向けて検討を進めます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	地震時等に著しく危険な密集市街地地区数	密集市街地整備方針	地区	11	9	7	数値	0
	考え方、定義、算出方法など	想定平均焼失率が23%以上の地区							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市庄内・豊南町地区住環境整備計画

【決算説明情報】

(単位: 千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	397,607	人件費(参考)	61,155			
	流用増減額 (予備費充当用含む)	△241	公債費(参考)	0			
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	366,979	財源内訳の	国・府支出金	58,791		
	決算額	190,259		地方債	7,300		
	残額	176,720		その他 特定財源	0		
	執行歩合	51.84%		一般財源	124,168		
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	市街地再開発(庄内・豊南)【継続】	15,342	0	0	15,342	01	都市再開発費
	市街地整備事業【継続】	0	0	0	0	01	都市再開発事業費
	土地区画整理事業認可事業【継続】	0	0	0	0	01	都市再開発費
	公共用地先行取得事業(都市整備課)【継続】	4,870	0	4,800	70	47	公共用地先行取得事業
	一般会計繰出金【継続】	24,509	0	0	24,509	47	他会計繰出金
	庄内・豊南町地区住宅市街地総合整備事業【継続】	145,538	58,791	2,500	84,247	01	都市再開発事業費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	耐震関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 安心して暮らせる市街地の形成を進めます	総合計画掲載ページ	74
担当部局・課	403000 都市計画推進部・建築審査課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○既存建築物の耐震性の向上を図り地震に強いまちづくりを行うため、「豊中市住宅・建築物耐震改修促進計画」に基づき、市民に耐震に関する知識の普及及び耐震補助を行い、昭和56年5月31日以前に建築された住宅・建築物の耐震化を促進します。</p>
当該年度の実績	<p>○平成28年度に改定した「豊中市住宅・建築物耐震改修促進計画」及び令和2年度の中間検証に基づき、耐震相談コーナーを設置するなど知識の普及に取り組みました。また、戸別訪問により市民への耐震化促進の啓発・補助制度等の周知活動を行いました。</p> <p>○原則として昭和56年（1981年）5月31日以前に建築された住宅又は特定建築物の耐震診断並びに木造住宅の耐震設計、耐震改修、除却及びブロック塀等撤去、分譲マンションの耐震改修の費用に対して補助を行いました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○市民への耐震化促進の啓発、補助制度等を活用することで、まちの安全性の向上に寄与しました。</p> <p>○住宅の耐震化に向けた取り組みについては、法的な強制力がないことや、旧耐震基準の木造住宅の所有者が高齢化しており耐震改修工事を実施するための経済的負担が大きく、また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、計画的に耐震化を進めることは容易ではありません。</p> <p>○耐震化促進に関する取り組みの普及啓発は、さらに必要とする人に情報が届くように、「豊中市住宅・建築物耐震改修促進計画」の中間検証も踏まえ、ホームページを活用する等、効果的・効率的な手法で実施していきます。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	耐震相談コーナー開催回数	担当課調査	回	1	2	3	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	耐震診断補助件数	担当課調査	件	21	34	36	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3	参考	耐震改修補助件数	担当課調査	件	12	5	10	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	耐震設計補助件数	担当課調査	件	4	5	10	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	震災対策除却補助件数	担当課調査	件	35	29	26	数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	建築物の耐震改修の促進に関する法律
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	住宅建築物耐震10ヵ年戦略・大阪
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市住宅・建築物耐震改修促進計画、豊中市既存民間建築物耐震診断補助金交付要綱 外

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	95,696	人件費（参考）	23,895	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	48	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	95,744	決算額の 財源内訳	国・府支出金	30,600
	決算額	51,296		地方債	0
	残額	44,448		その他 特定財源	0
	執行歩合	53.58%		一般財源	20,696

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計		
						(コード)	目	
予算管理事業	耐震補助事業【継続】	48,297	30,570	0	17,727	01	建築開発指導費	
	耐震診断・改修促進事業【継続】	2,999	30	0	2,969	01	建築開発指導費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	用地買収事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	262500 財務部・資産管理課		
関連部局・課	430500 基盤整備課		

事業概要	<p>○公共施設やインフラ等を整備するために、必要となる事業用地を確保します。またその事業用地に係る担当課との調整を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○都市計画道路曾根島江線整備事業において、計画していた事業用地の確保にかかる契約を土地所有者と締結しました。 ○大島町主要生活道路整備事業において、各権利者と事業用地の確保にかかる調整を行い、契約を締結しました。 ○庄内さくら学園整備事業など、担当課及び各権利者と調整を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○都市計画道路曾根島江線整備事業は、令和4年度に計画していた契約が成果となりますが、契約した土地にある建物解体が課題となります。 ○大島町地区主要生活道路整備事業は、令和4年度中に必要な契約の大半を締結しましたが、長屋の建物にかかる交渉が課題となります。 ○庄内さくら学園整備事業などは、契約締結が成果となります。 ○用地買収業務全般として、土木職・建築職が不在の担当課との調整や、各権利者が行う自身の解体工事等における実費と補償金との違いや、工事等の調整が課題となります。各課題に向け、その時の状況や法令に合わせた業務を行います。</p>
----------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	契約件数	用地補償台帳	件	41	19	42	数値	
	考え方、定義、算出方法など	寄附を除く契約書単位での契約数で計上。							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3,800	人件費（参考）	41,310
	流用増減額 （予備費充当用含む）	538	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	4,338	国・府支出金	0
	決算額	3,709	地方債	0
	残額	629	その他 特定財源	0
	執行歩合	85.50%	一般財源	3,709
			財源内訳の	

予算 管理 事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	用地買収事務【継続】	3,709	0	0	3,709	01	財産管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	自動車駐車場施設管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	401000 都市計画推進部・都市整備課		
関連部局・課			

事業概要	○市民生活の利便性の向上のため、道路交通の円滑化及び公共交通機関の利用の促進を図ります。
当該年度の実績	○豊中駅西自動車駐車場では、貸付をしている民間事業者により、計画的な予防保全工事を行うとともに、突発的な不具合を解消するための修繕工事を行いました。 ○螢池駅西自動車駐車場では、貸付をしている民間事業者により、計画的な予防保全工事を行うとともに、突発的な不具合を解消するための修繕工事を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○長期修繕計画に基づき、予防保全工事を実施したことで、民間事業者による適切な運営ができました。 ○豊中駅西自動車駐車場では、電気料金の高騰により民間事業者の経営を圧迫しているため、既存設備の節電対策をすすめるとともに、照明設備のLED化を進めます。 ○螢池駅西自動車駐車場では、令和5年度末に貸付契約が満了となるため、新たな貸付契約に向け、条件整理を行います。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	建物の区分所有にかかる費用 (豊中駅西自動車駐車場施設)	担当課調査	千円	14,377	14,377	22,064	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	建物の区分所有にかかる費用 (螢池駅西自動車駐車場施設)	担当課調査	千円	3,856	3,856	3,856	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	駐車場法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	61,520	人件費（参考）	7,290	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	61,520	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	58,717		地方債	0
	残額	2,803		その他 特定財源	68
	執行歩合	95.44%		一般財源	58,649

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		豊中駅西自動車駐車場施設管理【継続】	23,211	0	0	23,211	01
	壺池駅西自動車駐車場施設管理【継続】	35,506	0	0	35,438	01	都市再開発費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	放置自転車関連事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	430100 都市基盤部・交通政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○放置自転車等を移動・保管し、速やかに返還するために適正な施設管理をします。</p> <p>○全ての人が安全で安心して道路を利用するために、道路の通行機能、防災活動やまちの美観を確保します。</p> <p>○駅周辺には必要な数の駐輪場が整備されているが、いまだ放置自転車が散見されるため、駅周辺の空き地や空き店舗を活用した民間による比較的小規模な、利用者の動線上で駅に近い駐輪場整備を促進し、放置自転車の縮減を図るために、民間駐輪場整備に対し経費の一部を助成します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○放置自転車等を移動・保管し、速やかに返還するために適正な施設管理をしました。</p> <p>○全ての人が安全で安心して道路を利用するために、道路の通行機能、防災活動やまちの美観を確保するため、道路上に放置されている自転車等の移動・保管を行いました。</p> <p>○民間駐輪場の整備助成に対する申込みはありませんでした。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○夜間の放置自転車対策として、夜間撤去の回数を増やしましたが、午後から夜間の時間帯の放置自転車が多いため、対策が必要です。</p> <p>○利便性の高い民間駐輪場を増加させるため、駐輪事業者等に民間駐輪場整備助成制度のパンフレットを送付するなど制度の周知に努めます。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	自転車移動保管台数	保管返還管理システム	台	3,883	3,540	3,694	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	自転車有料返還台数	保管返還管理システム	台	2,290	2,345	2,908	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	民間駐輪場整備助成台数	交通政策課資料	台	68	0	0	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市自転車等の放置の防止に関する条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	62,492	人件費（参考）	15,795
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	62,493	国・府支出金	0
	決算額	59,826	地方債	0
	残額	2,667	その他 特定財源	10,557
	執行歩合	95.73%	一般財源	49,269
			財源内訳の	

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
服部南自転車保管所施設管理【継続】	372	0	0	367	01	道路橋梁維持費
豊中駅北自転車保管所施設管理【継続】	464	0	0	451	01	道路橋梁維持費
放置自転車等保管返還管理システムの運用【継続】	2,996	0	0	2,996	01	道路橋梁維持費
服部南自転車保管所施設運営【継続】	353	0	0	353	01	道路橋梁維持費
豊中駅北自転車保管所施設運営【継続】	337	0	0	337	01	道路橋梁維持費
放置自転車等防止事業【継続】	55,304	0	0	44,765	01	道路橋梁維持費
民間駐輪場整備助成事業【継続】	0	0	0	0	01	交通安全施設整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	交通安全整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	430500 都市基盤部・基盤整備課		
関連部局・課	430100 交通政策課		

事業概要	<p>○だれもが気軽に出かけられる安心・安全で快適なまちづくりのため、歩道改良実施計画に基づく歩道の改良と「自転車ネットワーク計画」に基づく自転車利用環境の整備に取り組むとともに、多様な個性の人々が社会的障壁を感じることなく出かけられる共生社会のまちづくりのため、「バリアフリーマスタープラン」に基づくバリアフリー化の推進に取り組みます。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○「バリアフリーマスタープラン」に基づくバリアフリー化を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊中市バリアフリー推進協議会を2回開催しました。 ・豊中市バリアフリーマスタープランに基づくバリアフリーマップを作成しました。（仮称）バリアフリーマップ等作成委託：1地区（9地区の内） ・バリアフリーチェックシステムを6件実施しました。 <p>○「歩道改良実施計画（令和3年度改訂版）」に基づく歩道改良整備事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内南1号線歩道改良工事（2工区）：L=273.0m ・庄本神崎川線歩道改良工事：L=305.0m ・阪急西側南線歩道改良工事（4-1工区）：L=191.8m ・平塚熊野田線の用地買収交渉を実施しました。 <p>○「自転車ネットワーク計画」に基づく自転車通行空間整備事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪急西側南線自転車通行空間整備工事：L= 669m ・菅根根服部緑地線外1路線自転車通行空間整備工事：L= 624m ・勝部寺内線自転車通行空間整備工事：L= 650m ・豊中柴原線自転車通行空間整備工事（その2）：L=1,050m ・自転車通行空間整備詳細設計：L=2,993m
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○「バリアフリーマスタープラン」について協議会で調査審議するとともに、岡町駅地区のバリアフリーマップを作成し、多様な個性の人々が社会的障壁を感じることなく出かけられる共生社会のまちづくりにつながりました。</p> <p>○歩道改良整備事業と自転車通行空間整備事業を実施し、だれもが気軽に出かけられる安心・安全で快適なまちづくりにつながりました。</p> <p>○「自転車ネットワーク計画」は、令和5年度（2023年度）末までに約25kmを整備する予定でしたが、国費等の財源不足のため事業の進捗に遅れが生じたことから、令和5年度（2023年度）に計画の見直しに取り組みます。（今後の方向性）</p> <p>○岡町駅地区のバリアフリーマップを公表するとともに、残る8地区のバリアフリーマップの作成と公表に取り組めます。</p> <p>○「歩道改良実施計画（令和3年度改訂版）」「自転車ネットワーク計画」の着実な進捗を図るため、財源の確保と経済的で効果的な工事手法の実施に取り組めます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	歩道改良整備延長	歩道改良実施計画	km	17.6	17.9	18.7	数値	23
	考え方、定義、算出方法など	歩道改良実施計画（当初～令和3年度改訂版）の計画年度（H7～R8年度）の延長（23km）に対する整備延長実績						年	令和8
2	目標	自転車通行空間整備延長	自転車NW計画	km	3.5	6.2	9.2	数値	25.0
	考え方、定義、算出方法など	自転車ネットワーク計画の優先度1、2の整備計画年度（R元年～R5年度）の延長（25km）に対する整備延長実績						年	令和5
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	道路法／道路構造令／バリアフリー法／自転車利用環境創出ガイドライン
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府福祉のまちづくり条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	構造条例／移動等円滑化条例／歩道改良実施計画／自転車ネットワーク計画／バリアフリーマスタープラン

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	283,312	人件費（参考）	47,719	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	256,812	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	61,105
	決算額	236,172		地方債	44,800
	残額	20,640		その他 特定財源	0
	執行歩合	91.96%		一般財源	130,267

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
バリアフリー化の推進【継続】	4,555	0	0	4,555	01	道路橋梁総務費
歩道改良整備事業【継続】	182,760	47,630	34,900	100,230	01	交通安全施設整備費
自転車通行空間整備事業【継続】	48,857	13,475	9,900	25,482	01	交通安全施設整備費
バリアフリー化推進事業【継続】	0	0	0	0	01	交通安全施設整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	街路整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	430500 都市基盤部・基盤整備課		
関連部局・課	430100 交通政策課		

事業概要	<p>○だれもが安全で安心して暮らせる、災害に強い快適なまちづくりのため、都市活動を支える道路ネットワーク、防災ネットワークの形成として、都市計画道路の体系的な整備に取り組みます。</p>
当該年度の実績	<p>○街路用地管理のため都市計画道路明示の測量を実施しました。 ○神崎刀根山線整備事業の用地買収に向けて、関係権利者との交渉を実施しました。 ○曾根島江線整備事業の工事着手に向けて、地質調査、詳細設計及び用地買収交渉を実施しました。 ○服部天神駅前広場整備事業の工事着手に向けて、府道豊中吹田線の電線共同溝の詳細設計及び街路事業による駅前広場整備の用地買収と物件移転補償を実施しました。また、沿道整備街路事業による駅前広場整備の公共施設管理者負担金を支出しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○街路用地管理及び神崎刀根山線整備事業と曾根島江線整備事業の整備工事着手に向けて業務を実施し、災害に強く快適なみちづくりにつながりました。 ○服部天神駅前広場整備事業の整備工事着手に向けて業務を実施し、まちなぎわい創出につながりました。 (今後の方向性) ○神崎刀根山線と曾根島江線及び服部天神駅前広場の整備工事着手に向け、引き続き関係機関、権利者、地域市民と協力して事業に取り組みます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	都市計画道路整備率	豊中市の都市計画道路	%	87.8	87.8	87.9	数値	100
		考え方、定義、算出方法など	都市計画道路の計画延長（平成26年見直し）に対する完成率						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	道路法／道路構造令／バリアフリー法／自転車利用環境創出ガイドライン
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府福祉のまちづくり条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	構造条例／移動等円滑化条例／歩道改良実施計画／自転車ネットワーク計画／バリアフリーマスタープラン

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	75,387	人件費（参考）	22,680	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	82,318	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	19,682
	決算額	55,297		地方債	3,700
	残額	27,021		その他 特定財源	0
	執行歩合	67.17%		一般財源	31,915

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	神崎刀根山線整備事業【継続】	0	0	0	0	01	街路事業費
	街路用地管理【継続】	1,090	0	0	1,090	01	街路事業費
	曽根島江線整備事業【継続】	32,347	12,567	3,700	16,080	01	街路事業費
	服部天神駅前広場整備事業【継続】	21,860	7,115	0	14,745	01	街路事業費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路橋梁新設改良事業（基盤整備課）	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	430500 都市基盤部・基盤整備課		
関連部局・課	430100 交通政策課		

事業概要	<p>○だれもが安全で安心して暮らせる、災害に強い快適なまちづくりのため、道路や橋梁の改良整備とともに、まちのにぎわいを創出するため、地域の特色を生かした道路の景観整備に取り組みます。また、老朽化が進む都市基盤施設のライフサイクルコストの縮減と長寿命化を図るため、定期的な点検調査と計画的な修繕に取り組みます。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○「道路橋長寿命化修繕計画」に基づき、道路橋長寿命化事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長興寺北溝橋改修設計 : L= 13.6m W=11.8m ・新勝部橋改修工事 : L= 42.2m W= 7.3m ・北新田橋改修工事 : L= 74.0m W=11.9m ・神洲橋改修工事（大阪市実施）負担金 : L=170.8m W=13.3m <p>○大阪音楽大学周辺整備事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内西町第3号線改良工事 : L=148.8m ・庄内中道線詳細設計 : L=250.0m W=6.0~6.7m <p>○「千里地区歩路橋長寿命化修繕計画」に基づき、千里地区歩路橋改修事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すすかけ橋改修設計 : L=48.0m W=3.0m ・千里橋斜路橋改修工事 : L=40.9m W=2.4m ・きりのき橋改修工事 : L=21.0m W=3.0m <p>○新千里東町1丁目交差点改良事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳細設計 : L=250.0m W=22.5m <p>○北新田橋整備事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩路橋架設詳細設計 : L=250.0m(橋長75m) W=3.5m <p>○「横断歩道橋長寿命化修繕計画」に基づき、横断歩道橋改修事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野田小曾根線歩道橋改修設計 : L=25.9m W=1.9m <p>○「人道橋長寿命化修繕計画」に基づき、人道橋改修事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検調査 : N=43橋 <p>○菟江交差点改良事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電線共同溝詳細設計 : L=470.0m*2 W=37.0~45.0m <p>○水路敷道路化整備事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上新田線詳細設計 : L=100.0m W=6.0m
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○菟江交差点改良事業、新千里東町1丁目交差点改良事業、北新田橋整備事業、水路敷道路化整備事業の整備工事着手に向けて業務を実施し、災害に強く快適なみちづくりにつながりました。</p> <p>○道路橋長寿命化事業、千里地区歩路橋改修事業、横断歩道橋改修事業、人道橋改修事業を実施し、都市基盤施設のライフサイクルコストの縮減と長寿命化につながりました。</p> <p>○大阪音楽大学周辺整備事業を実施し、まちのにぎわい創出につながりました。</p> <p>○各事業とも工事着手には、関係機関との協議調整、地域市民への十分な説明が必要です。（今後の取り組み）</p> <p>○菟江交差点改良事業は、大阪府と連携して電線共同溝、改良工事の着手に向け取り組みます。</p> <p>○新千里東町1丁目交差点改良事業、北新田橋整備事業は、工事着手に向け引き続き交通管理者やNEXCO西日本と協議調整に取り組みます。</p> <p>○水路敷道路化整備事業の上新田線は、工事着手に向け、雨水対策、電柱・地下埋設物の移設、工事期間中の安全対策などについて、引き続き地域市民への説明に取り組みます。</p> <p>○新千里東町歩第8号線（こぼれび通り）整備事業は、URの建替え事業と連携して無電柱化と道路整備に取り組みます。</p> <p>○大阪音楽大学周辺整備事業は、引き続き音楽を楽しめる道路整備に取り組みます。</p> <p>○道路橋長寿命化事業、千里地区歩路橋改修事業、横断歩道橋改修事業、人道橋改修事業は各事業計画に基づき、予防保全の修繕、補強工事に取り組みます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	道路橋修繕橋梁数累計	長寿命化修繕計画	橋	20	20	21	46	令和12
	考え方、定義、算出方法など	豊中市道路橋長寿命化修繕計画に対する修繕橋梁数累計							
2	目標	千里地区歩路橋修繕橋梁数累計	長寿命化修繕計画	橋	11	13	15	22	令和9
	考え方、定義、算出方法など	豊中市千里地区歩路橋長寿命化修繕計画に対する修繕橋梁数累計							
3	目標	横断歩道橋修繕橋梁数累計	長寿命化修繕計画	橋	10	11	11	15	令和8
	考え方、定義、算出方法など	豊中市横断歩道橋長寿命化修繕計画に対する修繕橋梁数累計							
4	目標	人道橋修繕橋梁数累計	長寿命化修繕計画	橋	2	2	2	23	令和10
	考え方、定義、算出方法など	豊中市人道橋長寿命化修繕計画に対する修繕橋梁数累計							
5									
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	道路法／道路構造令／バリアフリー法／自転車利用環境創出ガイドライン
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府福祉のまちづくり条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	構造条例／移動等円滑化条例／歩道改良実施計画／自転車ネットワーク計画／バリアフリーマスタープラン

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	655,600	人件費 (参考)	45,131	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	3	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	676,550	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	110,770
	決算額	559,706		地方債	57,600
	残額	116,844		その他 特定財源	0
	執行歩合	82.73%		一般財源	391,336

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
						(コード)	目
	道路橋長寿命化事業【継続】	257,650	44,660	30,500	182,490	01	道路橋梁新設改良費
	道路・橋梁小改良【継続】	5,462	0	0	5,462	01	道路橋梁新設改良費
	大阪音楽大学周辺整備事業【継続】	31,486	5,500	0	25,986	01	道路橋梁新設改良費
	千里地区歩路橋改修事業【継続】	156,215	41,250	27,100	87,865	01	道路橋梁新設改良費
	【完了】	0	0	0	0	00	
	新千里東町1丁目交差点改良事業【継続】	1,856	0	0	1,856	01	道路橋梁新設改良費
	北新田橋整備事業【継続】	40,729	0	0	40,729	01	道路橋梁新設改良費
	道路附属物改修事業【継続】	0	0	0	0	01	道路橋梁新設改良費
	横断歩道橋改修事業【継続】	10,236	3,960	0	6,276	01	道路橋梁新設改良費
	人道橋改修事業【継続】	54,842	15,400	0	39,442	01	道路橋梁新設改良費
	新千里東町歩第8号線(こぼれび通り)整備事業(基盤整備課)【継続】	0	0	0	0	01	道路橋梁新設改良費
	菟江交差点改良事業【継続】	0	0	0	0	01	道路橋梁新設改良費
	水路敷道路化整備事業【継続】	1,230	0	0	1,230	01	道路橋梁新設改良費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路橋梁新設改良事業（基盤管理課）	区分	継続
施策の方向性	(2) 安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	431000 都市基盤部・基盤管理課		
関連部局・課	400000 都市計画推進部 403000 建築審査課 431500 基盤保全課		

事業概要	<p>○秩序ある良好な市街地を形成し、生活環境の向上と災害の防止を図るため、細街路の整備を行います。</p> <p>○道路の円滑な通行と安全性の向上を図るため、道路や橋梁の一部改良を行います。</p> <p>○市有路線網における寄附の促進を図るため、道路整備等の一部を助成します。</p> <p>○新千里東町歩第8号線を魅力的な緑道にするため、隣接する建物の建替えにあわせて一体的整備を行い地域の活性化を図ります。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○建築確認や開発行為などにおいて細街路計画路線の後退指導や建築基準法に定める基準以上の後退用地の買収について協議を実施しました。</p> <p>○道路・小改良において、公共測量に基づく基準点を208点設置しました。</p> <p>○寄附道路整備助成事業において、助成金を19件交付しました。</p> <p>○新千里東町歩第8号線（こぼれび通り）整備事業について、UR都市機構や自治協議会を含めた地元三団体と再整備工事の実施に関する協議、調整を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○細街路計画における後退用地の買収について沿道土地利用者と協議を行ったことで、後退用地を考慮した土地利用計画の実施につながりました。引き続き、後退用地の買収について、協議を実施します。</p> <p>○道路・小改良において、本町5丁目外5地区の内、0.31km²について公共測量に基づく基準点網を整備することができました。今後、この整備を進めるうえで、必要な既知点が不足している地区があるため、その対応を検討する必要があります。</p> <p>○寄附道路整備助成事業を実施し、21筆の道路敷を寄附受理したほか、舗装面積1,182m²及び側溝延長287mの整備につながりました。今後、市有道路網における寄附の促進を図るため、本事業の周知方法を検討する必要があります。</p> <p>○新千里東町歩第8号線（こぼれび通り）整備事業について、再整備工事の実施にむけた基本協定書及び負担金協定書を締結しました。今後、本路線における残る1・3工区の整備に向け、関係機関との協議・調整を行う必要があります。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	道路整備助成金	市政年監	件	25	24	19	数値	
		考え方、定義、算出方法など	助成金支払い件数						
2	参考	基準点整備測量	基盤管理課資料	点	0	248	208	数値	
		考え方、定義、算出方法など	基準点整備点数						
3	参考	細街路整備	市政年監	件	1	0	0	数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市細街路整備計画実施要綱、豊中市狭あい道路等の寄附に関する要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	76,000	人件費（参考）	21,708	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	54,291	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	4,700
	決算額	47,488		地方債	0
	残額	6,803		その他 特定財源	0
	執行歩合	87.47%		一般財源	42,788

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		細街路整備事業【継続】	0	0	0	0	01
	道路・橋梁小改良【継続】	10,876	0	0	10,876	01	道路橋梁新設改良費
	寄附道路整備助成事業【継続】	36,612	4,700	0	31,912	01	道路橋梁新設改良費
	新千里東町歩第8号線（こぼれび通り）整備事業（基盤管理課）【新規】	0	0	0	0	01	道路橋梁新設改良費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	431000 都市基盤部・基盤管理課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 230000 環境部 232500 美化推進課 233000 公園みどり推進課 260500 固定資産税課 262500 資産管理課 400000 都市計画推進部 402500 開発審査課 430100		

事業概要	<p>○道路・水路の機能維持を図るために、法的及び財産的管理を行います。</p> <p>○業務の円滑化・効率化及び市民サービスの向上を図るため、道路台帳システム（GIS/地理情報システム）を活用した道路管理業務を行います。</p> <p>○道路・水路における構造の保全や安全で円滑な通行を確保するため、ライフライン等の占用や承認工事等に対する許認可事務のほか、不正使用に対する是正指導などの監視事務を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○道路・水路の機能維持を図るために、法的及び財産的管理を行いました。</p> <p>○業務の円滑化・効率化及び市民サービスの向上を図るため、道路台帳システム（GIS/地理情報システム）を活用し、36件の道路区域の決定及び変更を行ったほか、50件の寄附による新たな道路敷の確保、59路線のデータ更新を行いました。</p> <p>○道路・水路における構造の保全や安全で円滑な通行を確保するため、ライフライン等の占用や承認工事等に対する許認可事務のほか、占用工事連絡協議会を12回開催しました。また、道路・水路の不正使用に対してのべ3,189件の是正指導を行いました。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○法的及び財産的管理を実施し、道路・水路の機能維持の確保につながりました。</p> <p>○道路台帳システム（GIS/地理情報システム）を活用した道路管理業務を行い、業務の円滑化・効率化及び市民サービスの向上につながりました。</p> <p>○占用や施行承認工事等に対する許認可事務を実施したことで、道路空間の有効活用及び道路構造の保全が図られ、安全で円滑な通行を確保することができました。</p> <p>○道路・水路の不正使用に対する是正指導を繰り返し行うことで、安全で円滑な通行環境の確保につながりました。今後、不正使用の増加・長期化が予想されるため、より効率的に業務を進める必要があります。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	道路管理瑕疵談話締結件数	市政年監	件	3	4	6	数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	道路占用許可件数	市政年監	件	256	356	457	数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市道路占用料条例、豊中市法定外公共物管理条例

【決算説明情報】

(単位: 千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	33,554	人件費 (参考)	107,730	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	33,554	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	33,189		地方債	0
	残額	365		その他 特定財源	802
	執行歩合	98.91%		一般財源	32,387

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	道路管理事務【継続】	594	0	0	594	01	道路橋梁維持費
道路台帳システムの運用【継続】	30,046	0	0	29,244	01	道路橋梁維持費	
許認可関連事務【継続】	801	0	0	801	01	道路橋梁維持費	
道路監理業務【継続】	1,748	0	0	1,748	01	道路橋梁維持費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路舗装事業（基盤管理課）	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	431000 都市基盤部・基盤管理課		
関連部局・課	431500 基盤保全課		

事業概要	○生活環境の向上と交通安全の確保を図るために、私道整備工事費の一部を助成します。
当該年度の実績	○私道助成事業において、私道整備工事を12件助成しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○私道整備助成事業により、延長588m、舗装面積2,058㎡の私道整備につながりました。私道の整備や管理に困っている私道所有者に対し、本事業の周知方法を検討する必要があります。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	私道整備工事助成件数	基盤管理課資料	件	5	6	12	数値	
		考え方、定義、算出方法など	助成金支払い件数						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市私道整備工事助成要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	11,000	人件費（参考）	4,698	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	930	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	11,930	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	11,930		地方債	0
	残額	0		その他 特定財源	0
	執行歩合	100.00%		一般財源	11,930

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
私道整備助成事業【継続】	11,930	0	0	11,930	01	道路舗装事業費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	交通安全施設整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	431500 都市基盤部・基盤保全課		
関連部局・課	430100 交通政策課 430500 基盤整備課		

事業概要	<p>○車両の円滑な交通及び歩行者の安全を確保するため、防護柵、カーブミラー等交通安全施設の設置及び更新や通学路の安全対策、並びに道路照明LED灯具及び道路アンダーパスにおける排水機場非常用発電機の賃貸借や、路面標示の設置並びに更新、道路照明施設の更新やLED化を実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○路面標示設置事業 市内一円の区画線設置や更新を実施しました。</p> <p>○一般交通安全施設整備事業 防護柵・カーブミラー等交通安全施設の設置や更新を実施しました。 道路アンダーパスにおける寺内排水機場非常用発電機の賃貸借契約を継続しました。 庄内さくら学園の通学路における安全対策工事を実施しました。 東豊中町第146号線の安全対策工事を実施しました。</p> <p>○道路照明改修 新千里2号線の照明改修工事を実施しました。</p> <p>○道路照明LED化事業 平成26年度から3か年で既存灯具（水銀灯、ナトリウム灯、蛍光灯など）をリース方式によるLED灯具に取替えたことから、10年間の賃貸借契約を継続しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○路面標示設置事業 道路利用者に対して必要な案内、警戒、指示等を路面に標示することにより、車両の安全かつ円滑な交通を確保することができました。 幹線道路での区画線の摩耗が散見されることから、修繕計画を策定し計画的な更新に取り組みます。</p> <p>○一般交通安全施設整備事業 交通安全施設の整備を図ることにより、車両の円滑な通行及び歩行者の安全を確保することができました。</p> <p>○道路照明改修 老朽化した市内道路照明施設の修繕を行うことにより、市民及び道路利用者の安全で快適な交通環境を確保することができました。</p> <p>○道路照明LED化事業 市民及び道路利用者の安全で快適な交通環境を確保するとともに、LED照明の導入促進により、省電力化並びにCO2排出量削減による環境負荷低減を図りました。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	照明施設更新施設数	豊中市街路灯修繕計画	基	32	14	10	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	道路照明施設点検の総合評価に基づく倒壊の恐れや連続性の観点から施設更新が必要な施設数							
2								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市街路灯修繕計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	147,476	人件費（参考）	26,163	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	147,477	財源内訳の	国・府支出金	3,300
	決算額	139,418		地方債	12,500
	残額	8,059		その他 特定財源	0
	執行歩合	94.54%		一般財源	123,618

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		路面標示設置事業【継続】	10,137	0	0	10,137	01
	一般交通安全施設整備事業【継続】	74,612	3,300	0	71,312	01	交通安全施設整備費
	道路照明改修【継続】	13,891	0	12,500	1,391	01	交通安全施設整備費
	道路照明LED化事業【継続】	40,778	0	0	40,778	01	交通安全施設整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路橋梁新設改良事業（基盤保全課）	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	431500 都市基盤部・基盤保全課		
関連部局・課	233000 公園みどり推進課 430500 基盤整備課 431000 基盤管理課		

事業概要	○道路利用者の安全かつ円滑な通行の確保を図るため、道路や橋梁の新設及び改良を行い、法面・擁壁や街路樹等の道路附属物の予防的かつ計画的な維持修繕を実施します。
当該年度の実績	○道路附属物改修事業 東豊中町第37号線（三ツ池）の法面改修工事を実施しました。 ○街路樹更新事業 街路樹の植替工事を実施しました。 街路樹の5年に1度の間点検を実施しました。 ○道路・橋梁小改良 長興寺排水機場非常用発電設備のエンジン点検整備を実施しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○道路附属物改修事業 法面改修工事の実施により、道路利用者に対する安全・安心な通行を確保することができました。 ○街路樹更新事業 街路樹の定期的な点検・診断の実施により、倒伏による事故を未然に防止し、道路利用者に対する安全・安心な通行を確保することができました。 街路樹の計画的な植替工事の実施により、並木の景観保全を向上することができました。 中間点検を踏まえた計画の見直しを行い、歩行者等通行の安全対策や危険木の撤去等に取り組みます。 ○道路・橋梁小改良 長興寺排水機場非常用発電設備のエンジン点検整備の実施により、道路アンダーパスにおける車両の安全な通行の確保につなげることができました。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	再整備（更新・撤去）計画植替本数	街路樹維持管理方針	本	29	39	91	数値	
	考え方、定義、算出方法など	豊中市街路樹再整備（更新・撤去）10年計画に基づく植替本数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	105,000	人件費(参考)	12,474	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費(参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	97,550	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	85,833		地方債	0
	残額	11,717		その他 特定財源	0
	執行歩合	87.99%		一般財源	85,833

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
道路・橋梁小改良【継続】	4,950	0	0	4,950	01	道路橋梁新設改良費
道路附属物改修事業【継続】	36,759	0	0	36,759	01	道路橋梁新設改良費
街路樹更新事業【継続】	44,124	0	0	44,124	01	道路橋梁新設改良費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路橋梁維持事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	431500 都市基盤部・基盤保全課		
関連部局・課	233000 公園みどり推進課 431000 基盤管理課 432000 維持修繕課		

事業概要	○道路の安全で快適な通行を確保するため、道路・橋梁及び道路附属施設の修繕工事、保守点検、街路灯等施設の公共料金、街路樹の剪定・伐採、道路の除草・清掃等、道路・橋梁に関する日常的な維持管理を実施します。
当該年度の実績	○維持補修事業 道路・橋梁及び道路附属施設の修繕工事、保守点検、街路灯等施設の公共料金、街路樹の剪定・伐採、道路の除草・清掃等、道路・橋梁に関する日常的な維持管理を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○維持補修事業 市民及び道路利用者の安全で快適な交通環境を確保することができました。 今後も市民及び道路利用者の安全で快適な交通環境を確保するとともに、緊急時における即応体制の充実を図ります。 市民からの通報や要望に対して、緊急度や優先度を総合的に勘案し、適切に対応します。
----------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	道路要望受付件数	受付情報システム	件	1,881	2,131	1,680	数値	
	考え方、定義、算出方法など	道路施設や道路附属施設に関する要望等の受付件数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	577,268	人件費（参考）	50,139	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△1,664	公債費（参考）	451,346	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	590,429	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	540,833		地方債	0
	残額	49,596		その他 特定財源	0
	執行歩合	91.60%		一般財源	540,833

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
維持補修事業【継続】	540,833	0	0	540,833	01	道路橋梁維持費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路舗装事業（基盤保全課）	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	431500 都市基盤部・基盤保全課		
関連部局・課	431000 基盤管理課 432000 維持修繕課		

事業概要	<p>○道路の安全で快適な通行を確保するため、舗装の計画的かつ効率的な維持修繕を実施します。また、陥没事故を未然に防止するため、路面下空洞調査を実施します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○路面下空洞調査事業 平成26年度に調査した幹線道路（歩道）の2回目の調査を実施しました。</p> <p>○主要道路舗装事業 「豊中市舗装修繕計画」に基づき、緑丘上野坂線、原田神崎川線、千里西町外回り線、千里園熊野田線、原田伊丹線、大阪国際空港線、刀根山線、新千里5号線、利倉園田線、今在家線の舗装工事を実施しました。</p> <p>○生活道路舗装事業 生活道路の舗装工事を実施しました。 境界標復元測量委託を実施しました。 上下水道事業に伴う復旧範囲外の舗装工事を負担金にて実施しました。</p> <p>○神崎刀根山線舗装事業 「豊中市舗装修繕計画」に基づき、緊急交通路である神崎刀根山線の舗装工事を実施しました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○路面下空洞調査事業 平成26年度歩道部調査における2回目の調査であり、経過観察箇所の変状確認や新規異常箇所を抽出し、陥没の危険がある箇所について即時に対応することにより、市民の安全・安心な通行を確保することができました。</p> <p>○主要道路舗装事業 老朽化した主要道路の舗装を更新することにより、車両交通の安全かつ円滑な通行を確保することができました。</p> <p>○生活道路舗装事業 老朽化した生活道路の舗装を更新することにより、車両交通の安全かつ円滑な通行を確保することができました。 膨大な管理延長を保有している生活道路の老朽化が進行していることから、修繕計画を策定し計画的な舗装更新に取り組みます。</p> <p>○神崎刀根山線舗装事業 老朽化した緊急交通路である神崎刀根山線を更新することにより、安全で快適な車両通行を確保することができました。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	令和7年度
1	目標	主要道路対策箇所一覧	豊中市舗装修繕計画	m	1,075	1,570	2,284	数値年	8800 令和7年度
	考え方、定義、算出方法など		舗装点検要領など						
2	目標	生活道路対策箇所一覧	豊中市舗装修繕計画	m	1,203	1,395	2,197	数値年	5123 令和7年度
	考え方、定義、算出方法など		舗装点検要領など						
3	目標	神崎刀根山線対策箇所一覧	豊中市舗装修繕計画	m	205	184	558	数値年	2200 令和7年度
	考え方、定義、算出方法など		舗装点検要領など						
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市舗装修繕計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	424,000	人件費（参考）	29,970				
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△1,109	公債費（参考）	0				
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	422,891	財源内訳の	国・府支出金	19,478			
	決算額	344,262		地方債	103,000			
	残額	78,629		その他特定財源	5,651			
	執行歩合	81.41%		一般財源	216,133			
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
路面下空洞調査事業【継続】		16,952	0	0	11,301	01	道路舗装事業費	
生活道路舗装事業【継続】		111,368	0	69,300	42,068	01	道路舗装事業費	
主要道路舗装事業【継続】		164,350	10,000	25,200	129,150	01	道路舗装事業費	
神崎刀根山線舗装事業【継続】		51,592	9,478	8,500	33,614	01	道路舗装事業費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	道路の維持管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2)安全で安心して移動できる総合的なみちづくり、交通環	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	432000 都市基盤部・維持修繕課		
関連部局・課	431500 基盤保全課		

事業概要	○安全で快適な交通環境を確保するため、円滑な車両走行を確保し集中豪雨による浸水被害の対応及び軽減をめざします。
当該年度の実績	○公共側溝施設を人力及び特殊車両等により清掃を実施し、常に良好な状態で維持管理しました。

当該年度の成果・課題	○集中豪雨による浸水被害の軽減になりました。 特殊車両での側溝清掃、人力での目皿、スクリーン、アンダーパス、路面等の清掃により浸水被害軽減出来ました。 課題としては豊中市全域を少ない職員では対応しきれてない現状があります。 落葉の時期には苦情も非常に多くあるので俊敏に対応出来るようにすると苦情がよくある場所は苦情がある前に清掃に入る等で対応していきます。
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	側溝清掃延長	管理年報	m	45,971	60,204	62,027	数値	
	考え方、定義、算出方法など	側溝清掃延長距離						数値	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	206,145	人件費(参考)	161,392
	流用増減額 (予備費充当用含む)	1,845	公債費(参考)	0
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	209,181	国・府支出金	0
	決算額	207,239	地方債	0
	残額	1,942	その他 特定財源	0
	執行歩合	99.07%	一般財源	207,239

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		道路側溝清掃維持管理【継続】	2,941	0	0	2,941	01	水路管理費
	維持補修事業【継続】	94,580	0	0	94,580	01	道路橋梁維持費	
	維持修繕事務所施設管理【継続】	9,539	0	0	9,539	01	水路管理費	
	道路舗装事業【継続】	100,179	0	0	100,179	01	道路舗装事業費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	交通対策事業	区分	継続
施策の方向性	(3)マイカーに頼らなくても移動できる交通体系の整備をめ	総合計画掲載ページ	75
担当部局・課	430100 都市基盤部・交通政策課		
関連部局・課	230100 環境政策課 401000 都市整備課 403000 建築審査課 430500 基盤整備課 431000 基盤管理課 431500 基盤保全課		

事業概要	<p>○交通体系の円滑化を進めるために、関係機関との連携・調整を図ります。</p> <p>○市民生活の利便に資するとともに、路上駐車を解消するために、道路交通の安全と円滑化を図ります。</p> <p>○鉄軌道駅で、視覚障害者等鉄道利用者がホームから転落することを防止するために、可動式ホーム柵及びホームドアの整備を促進します。</p> <p>○北大阪急行延伸線開業に合わせ、千里中央地区活性化ビジョンの実現をめざす動きの中で、当該地区が抱える交通問題の解決するために、将来の交通需要を考慮した安全で快適な駅前空間の実現に向けた駅前広場再整備を実施します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○【拡充】豊中市地域公共交通協議会を開催し、関係機関との連携・調整を図りました。</p> <p>○路外駐車場の整備等について事業者と協議を行い、路上駐車の解消を図りました。</p> <p>○可動式ホーム柵及びホームドアの整備について、事業者と協議を行いました。</p> <p>○千里中央駅前広場再整備に向けた基本設計を実施するとともに、事業者や関係者と協議を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○関係機関との連携・調整を図りながら、豊中東西線バスや乗合タクシーの運行内容を改善し、利用者が増加しました。</p> <p>○事業者と協議し、路外駐車場設置届出を受理しました。</p> <p>○阪急電鉄宝塚線の可動式ホーム柵及びホームドアの整備について、バリアフリー料金制度を導入し推進することになりました。</p> <p>○千里中央駅前広場再整備事業を推進するために、各種関係者等と調整を行い、事業計画の早期確定に向けて取り組みます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	バス利用者一人当たりの補助額 (豊中市東西線)	阪急バス実績報告	円/人		310	202	数値	787
	考え方、定義、算出方法など	市補助額(年間運行経費89,000千円)÷(年間利用者数310人×365日)=787円/人							
2	参考	乗合タクシー利用者数(西部路線)	受託事業者報告	人/日	7.7	8.9	12	数値	20
	考え方、定義、算出方法など	年間利用者数(実施計画における目標値 20人/日)							
3	参考	乗合タクシー利用者数(南部路線)	受託事業者報告	人/日		2.8	2.7	数値	20
	考え方、定義、算出方法など	年間利用者数(実施計画における目標値 20人/日)							
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱 他
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府鉄道駅可動式ホーム柵整備事業費補助金交付要綱、大阪府福祉まちづくり条例 他
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、豊中市公共交通改善計画 他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	111,094	人件費（参考）	33,308
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	111,094	国・府支出金	0
	決算額	76,179	地方債	0
	残額	34,915	その他 特定財源	108
	執行歩合	68.57%	一般財源	76,071

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	交通対策事業【拡充】	70,673	0	0	70,565	01	土木総務費	
	路外駐車場管理事業【継続】	6	0	0	6	01	土木総務費	
	鉄道駅安全対策事業【継続】	0	0	0	0	01	交通安全施設整備費	
	千里中央駅前広場再整備事業【継続】	5,500	0	0	5,500	01	道路橋梁新設改良費	



3-4 魅力的な住環境の形成

良好な住環境を保全・継承し、誰もが快適に暮らしやすい魅力的なまちづくりに取り組みます。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)地域特性を活かした都市の拠点づくりを進めます	4事業
①千里中央駅周辺の活性化	
②中心市街地の活性化	
③大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進	
空港を活かしたまちづくり推進事業	都市活力部 空港課
都市計画調整	都市計画推進部 都市計画課
千里ニュータウン再生推進事業	都市計画推進部 都市整備課
都市・地域拠点の活性化推進事業	都市計画推進部 都市整備課
(2)社会環境の変化に応じた住まいの確保を支援します	2事業
①良質な住宅ストック形成の促進	
②市営住宅の適切な管理	
住宅施策関連事業	都市計画推進部 住宅課
市営住宅施設運営管理	都市計画推進部 住宅課

(3)まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	7事業
①良好な住環境の維持・継承	
②適切な規制誘導による土地利用の推進	
③空き家対策の推進	
④バリアフリー化の推進	
境界確定事業	財務部 資産管理課
開発・建築行政にかかる審査会の運営	都市計画推進部 都市計画課
開発審査・指導事業	都市計画推進部 開発審査課
建築基準法審査・指導関連事業	都市計画推進部 建築審査課
違反建築物等指導事業	都市計画推進部 建築安全課
中高層建築等調整事業	都市計画推進部 中高層建築調整課
住民主体のまちづくりの推進	都市計画推進部 都市計画課

(4)まちの魅力を高める都市景観づくりを進めます	1事業
①良質な都市景観の保全・創造	
都市景観形成の推進	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	空港を活かしたまちづくり推進事業	区分	拡充
施策の方向性	(1) 地域特性を生かした都市の拠点づくりを進めます	総合計画掲載ページ	76
担当部局・課	211500 都市活力部・空港課		
関連部局・課	230000 環境部 430000 都市基盤部		

事業概要	<p>○大阪国際空港周辺地域の活性化を図るため、空港周辺場外用地の利活用や空港を活かしたまちづくりの取組みを進めます。</p> <p>○大阪国際空港周辺緑地事業の緩衝緑地Ⅱ期事業の計画地で、隣接する千里川土手が観光スポットとなっていることから、大阪国際空港周辺地域の活性化を目的に、千里川土手と一体的な空間として魅力的なスポットとするため、（仮称）原田緩衝緑地の整備を進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○【拡充】原田緑地整備・管理運営事業に向けて、市民や空港周辺地域住民を対象にワークショップを開催しました。</p> <p>○【拡充】原田緑地整備・管理運営事業（DBO方式）の募集要項等の資料作成、条例改正、事業者選定委員会の運営等を行いました。</p> <p>○【拡充】千里川土手の整備に向けて、関係機関と協議を進め、CVM評価を行うとともに、かわまちづくり協議会を発足しました。</p> <p>○移転補償跡地の防火水槽用地（1件 消防局）の買取りを行うとともに、空港運営者と連携し、移転補償跡地（2件）の売却を進めました。</p> <p>○走井地区内緩衝緑地において、地元住民や航空会社、空港運営者と連携し、開放イベントを実施しました。</p> <p>○コロナ禍による制限の解除に伴い、航空需要の回復も見られ、これまで実施を見送っていた神楽公演や就航都市事務担当者会議等の交流事業を実施しました。</p> <p>○益田市、隠岐の島町の2就航都市での「クラダシチャレンジ」事業の実現に向けて、協議を進めました。</p> <p>○ふるさと納税について、空港のあるまちならではの返礼品として、池田市、伊丹市、日本航空株式会社大阪空港支店と協力し、JAL「大阪国際空港施設見学ツアー」の実施に向けて取り組みました。</p> <p>○【新規】他部局や関係機関、周辺住民との緊密な連絡調整を行いながら、原田緑地整備・管理運営事業に向けた事前調査を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○大阪国際空港周辺地域整備構想の具体化が進みました。</p> <p>○原田緑地整備・管理運営事業（DBO方式）の公募に至りました。</p> <p>○かわまちづくり協議会を発足し、千里川土手の整備に向けた取組みが進みました。</p> <p>○移転補償跡地の有効活用が進みました。</p> <p>○走井地区内緩衝緑地の有効活用と内容の充実が進みました。</p> <p>○引き続き就航都市交流事業や活性化イベントに取り組むとともに、交流都市の拡大や交流範囲を市民レベルへと広げるための取組みを進めます。</p> <p>○益田市、隠岐の島町の2就航都市での「クラダシチャレンジ」実施について、共催する事業者の取扱い可能な人数に上限があることから、9月頃に益田市で実施し、冬場以降に隠岐の島町で実施するよう協議を進めます。</p> <p>○ふるさと納税返礼品について、円滑に事業を進めるとともに、新たな可能性を検討します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	令和
1	目標	緩衝緑地の整備率	担当課調査	%	46	46	46	数値年	61 令和7
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	利用緑地の整備率	担当課調査	%	99	99	99	数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
3	目標	就航都市との交流事業数	担当課調査	件	1	3	12	数値年	12 令和4
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	大阪国際空港周辺地域活性化連絡会事業数	担当課調査	件	2	2	4	数値年	8 令和4
	考え方、定義、算出方法など								
5	目標	移転補償跡地利活用面積割合	担当課調査	%	88	88	88	数値年	90 令和7
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪国際空港周辺整備計画
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	空港で結ぶ友好都市提携に関する協定、災害時の相互応援に関する協定、大阪国際空港周辺地域整備構想

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	24,164	人件費（参考）	22,275	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	40	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	24,259	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	15,749		地方債	0
	残額	8,510		その他 特定財源	7
	執行歩合	64.92%		一般財源	15,742

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
					(コード)	目
大阪国際空港周辺場外用地利活用事業【拡充】	12,401	0	0	12,401	01	生活環境費
空港を活かしたまちづくり推進事業【継続】	1,921	0	0	1,914	01	生活環境費
大阪国際空港周辺地域整備事業【完了】	0	0	0	0	01	生活環境費
（仮称）原田緩衝緑地整備事業【新規】	1,427	0	0	1,427	01	空港周辺地域整備事業

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	都市計画調整	区分	継続
施策の方向性	(1) 地域特性を生かした都市の拠点づくりを進めます	総合計画掲載ページ	67
担当部局・課	400500 都市計画推進部・都市計画課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○第2次都市計画マスタープランで示す都市空間の将来像の実現に向けて、都市づくりを進めるため、都市計画に関する調査及び分析を行い、都市計画制度を適切に運用し、施策の検討及び立案を行います。また、都市計画に関する情報発信を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○都市計画審議会を2回開催し、都市計画変更を3件（新千里北住宅地区地区計画、特別用途地区、生産緑地地区）行うとともに、特定生産緑地の指定を行いました。 ○土地利用調査及び都市計画現況調査をそれぞれ1回ずつ実施しました。 ○都市計画の情報提供に関するサービスについて、都市計画証明の発行やホームページの随時更新を行うとともに、窓口システムの運用を開始しました。 ○立地適正化計画の中間評価及び見直しに向け、公募型プロポーザルにより契約候補者を選定しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○現状の土地利用の状況変化や社会経済状況の変化等を踏まえ、都市計画変更等により第2次都市計画マスタープランで示す都市空間の将来像の実現に寄与しました。今後も継続的に実施します。 ○土地利用調査や都市計画現況調査等を行い、都市計画変更等の基礎となるデータの整備を行いました。今後も継続的に実施します。 ○これまでのホームページに加え、窓口システムによる情報提供を開始し、市民が都市計画情報を確認する機会を充実させました。引き続き、ホームページや窓口システムによる情報提供を行ってまいります。 ○立地適正化計画の改定にかかる契約候補者の選定を行い、令和5年度当初に着手できることとなりました。引き続き改定作業を進め、当年度中に計画を公表します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	都市計画審議会諮問・付議件数	担当課調査	件	4	7	4	数値	5
		考え方、定義、算出方法など	見込					年	2022
2	参考	窓口システムの都市計画情報出力件数	担当課調査	件			2,345	数値	
		考え方、定義、算出方法など	実績					年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市計画法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市土地利用の調整に関する条例、第2次都市計画マスタープラン、立地適正化計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3,105	人件費（参考）	41,310	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	3,105	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	377
	決算額	2,399		地方債	0
	残額	706		その他 特定財源	127
	執行歩合	77.26%		一般財源	1,895

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	都市計画調整事業【継続】	2,084	377	0	1,580	01	都市計画総務費	
	都市計画策定事業【継続】	291	0	0	291	01	都市計画総務費	
	都市計画マスタープランの推進【継続】	24	0	0	24	01	都市計画総務費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	千里ニュータウン再生推進事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 地域特性を生かした都市の拠点づくりを進めます	総合計画掲載ページ	76
担当部局・課	401000 都市計画推進部・都市整備課		
関連部局・課	300100 コミュニティ政策課		

事業概要	<p>○「千里ニュータウン再生指針2018」に基づき、千里ニュータウン再生を推進する取組みを進めるために、千里ニュータウンの整った都市基盤や周辺の高度な都市機能を活かし、市民・事業者・行政が連携してまちの活性化を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議において、千里ニュータウンに関する情報交換、行政間の調整、調査研究、資料収集・整理、千里ニュータウンポータルサイトの運営等に関する会議を12回開催しました。</p> <p>○千里市民フォーラム、千里キャンドルロード、せんちゅう芝生ナイトシアター、SENRI PARK LIFE DESIGNの開催に向けた活動支援として、月1回程度の会議の出席などを行いました。</p> <p>○「千里ニュータウン再生指針2018」の実現に向けて、大阪大学と新千里南町近隣センターの活性化の取組み（ワークショップ）を行いました。</p> <p>○千里中央地区東町中央ゾーン再整備検討会において、令和5年度中の事業認可を目標として土地区画整理事業の概略検討を行いました。</p> <p>○千里中央地区活性化協議会の運営を行うとともに、エリアマネジメントの実施に向けた検討を行う会議を8回開催しました。</p> <p>○新千里東町近隣センター地区市街地再開発組合において、地区会館棟を竣工しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議で、千里ニュータウンまちびらき60周年に関するロゴマークの募集や巡回写真展を実施したことにより、千里ニュータウンへの情報発信につながりました。</p> <p>○市民活動の支援を図った結果、地元事業者も巻き込んで、産官民連携した賑わいづくりに寄与しました。</p> <p>○新千里南町近隣センターで大阪大学と作業や、ワークショップなどの実施により、多くの住民の目に触れることができ、地域の活性化に繋がりました。</p> <p>○千里中央地区東町中央ゾーン再整備検討会により、民間事業者のアフターコロナの事業計画見直しが進捗につながりました。ただし、今般の建設費の高騰など新たな課題が出てきており、引き続き検討を行い、早期の事業計画の決定に努めます。</p> <p>○防災ワーキングや景観ワーキングの実施により、地区内の各事業者の課題共有が図られ、課題解決に向けた関連事業者間での連携によるエリアマネジメントの検討が進みました。</p> <p>○地区会館棟の完成により、地区会館棟と郵便局の移転ができ、地域拠点としての機能更新が図られ、地域の活性化に繋がりました。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	千里ニュータウン内の人口（豊中中域）	担当課調査	人	101,551	103,262	103,055	数値	
		考え方、定義、算出方法など	住民基本台帳（10月1日時点）の新千里北町・新千里東町・新千里西町・新千里南町の人口						
2	参考	再整備に関する協議回数	担当課調査	回	40	40	50	数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3	参考	再生連絡協議会の開催回数	担当課調査	回	2	2	1	数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4	参考	連絡会議の開催回数	担当課調査	回	8	10	9	数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5	参考	基本方針による行政指導件数	担当課調査	件	29			数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市計画法、建築基準法、土地区画整理法、都市開発法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	千里ニュータウン再生指針2018、千里中央地区活性化ビジョン、千里中央地区活性化基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	34,031	人件費（参考）	42,525				
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0				
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	38,031	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0			
	決算額	29,408		地方債	0			
	残額	8,623		その他 特定財源	517			
	執行歩合	77.33%		一般財源	28,891			
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
千里ニュータウンまちづくりの推進【継続】		240	0	0	240	01	都市計画総務費	
近隣センターの活性化【継続】		591	0	0	591	01	都市計画総務費	
千里中央地区再整備【継続】		9,250	0	0	8,733	01	都市計画総務費	
新千里東町近隣センター整備事業【継続】		18,000	0	0	18,000	01	都市再開発事業費	
千里ニュータウンの再生【継続】		33	0	0	33	01	都市計画総務費	
千里中央地区再整備事業【継続】		1,294	0	0	1,294	01	都市再開発事業費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	都市・地域拠点の活性化推進事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 地域特性を生かした都市の拠点づくりを進めます	総合計画掲載ページ	76
担当部局・課	401000 都市計画推進部・都市整備課		
関連部局・課	200100 経営計画課 262500 資産管理課 400500 都市計画課 430500 基盤整備課		

事業概要	<p>○都市・地域拠点の活性化の推進のため、にぎわいと魅力ある都市空間の形成をめざします</p> <p>○服部天神駅周辺地区において市民の日常生活拠点の確保のため、整備を進めます。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○【新規】服部天神駅前広場の整備に向け、関係地権者の9割と補償契約を締結しました。</p> <p>○豊中地区において、「豊中駅周辺再整備構想」の実現に向け、市民参加型ワークショップを3回開催しました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○移転補償交渉対象者の約9割と補償契約を締結することで、事業の推進につながりました。今後は関係地権者の全員と補償契約の締結を進めます。</p> <p>○事業地内の一部の道路を整備することで、通行人の安全性の確保につながりました。</p> <p>○豊中地区では、市民参加型ワークショップの実施により、地域が主体となったまちづくり活動のきっかけにつながりました。</p> <p>○豊中駅周辺再整備構想の実現に向け、引き続き、市民参加型ワークショップを開催しながら、魅力あるまちづくりに向けた合意形成に取り組みます。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	豊中駅乗降客数（通年平均）	豊中市統計書	人	47,483	36,191	36,843	数値	
		考え方、定義、算出方法など	前年度調査						
2	参考	服部天神駅乗降客数（通年平均）	豊中市統計書	人	23,920	18,505	18,505	数値	
		考え方、定義、算出方法など	前年度調査						
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等 <input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等 <input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	都市計画法、土地区画整理法
		中心市街地活性化基本計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	316,984	人件費（参考）	42,525	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	380,628	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	360,362		地方債	209,000
	残額	20,266		その他 特定財源	925
	執行歩合	94.68%		一般財源	150,437

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計		
						(コード)	目	
予算管理事業	都市・地域拠点の活性化の推進【継続】	4,359	0	0	4,359	01	都市計画総務費	
	服部天神駅周辺地区整備（都市再開発事業費）【継続】	146,935	0	0	146,010	01	都市再開発事業費	
	公共用地先行取得事業（服部天神）【新規】	209,068	0	209,000	68	47	公共用地先行取得事業	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	住宅施策関連事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 社会環境の変化に応じた住まいの確保を支援します	総合計画掲載ページ	77
担当部局・課	400100 都市計画推進部・住宅課		
関連部局・課	260500 固定資産税課 330000 福祉部		

事業概要	<p>○豊中市における魅力的な住環境の形成を推進するため、市の各部局が実施している様々な住宅関連施策・事業についての総合企画及び庁内関係部局等との調整を行います。また、年度を通して、市民等に対し適切な情報提供を行います（広報とよなか、市ホームページ、その他の広報媒体）。</p>
当該年度の実績	<p>○サービス付き高齢者向け住宅の新規登録1件・更新登録5件・変更手続き等の受付86件、登録物件への立入検査10件を実施しました。 ○【新規】分譲マンションの管理適正化に向けてアドバイザー派遣制度や管理組合用郵便受け設置補助制度を開始しました。また、マンション管理セミナーの実施やマンション管理組合に向けて管理状況等の実態の把握を目的としたアンケート調査を行いました。 ○NPO法人等との共催で「住まい」や「暮らし」に関するイベント等を実施しました（住宅フェア1回、住まいと暮らしの相談は随時対応、不動産相談会4回）。 ○総合的な空き家対策方針に基づき、空き家の家財整理・相続セミナーを実施しました。また、固定資産税納税通知書に相続登記の啓発チラシを同封しました。 ○空家等対策計画を作成するための基礎調査として、市内全域における空家実態調査を実施し、本市の空き家の状況把握と分析を行いました。 ○租税特別措置法に基づく被相続人居住用家屋等確認書55件、低未利用土地等確認書3件を交付しました。 ○居住支援協議会において、不動産事業者団体・福祉事業者団体・庁内関係部局と連携し、セーフティネット住宅の登録促進、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を支援しました。 ○市外在住の子育て世帯が市内に住む親世帯と同居・近居するための住宅の取得費用やリフォーム費用の一部を補助しました（60件）。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○サービス付き高齢者向け住宅の登録戸数は順調に増加しており、引き続き、福祉部局と連携し、サービス付き高齢者向け住宅の普及促進を図ります。 ○市内分譲マンションの管理に関するアンケート調査の結果から、本市のマンションの大半は適切に管理されていると考えられますが、未回答のマンションの中には適正な管理が行われていないものが存在する可能性があるため、管理状況の把握を継続的に進める必要があります。 ○マンション管理適正化推進計画に基づき、マンションの管理水準の維持向上を図るため、管理計画認定制度の普及促進を行います。また、管理組合が自主的かつ適切にマンションの管理運営に取り組むための支援として、引き続きセミナーの開催やアドバイザー派遣等を実施します。 ○三世帯同居・近居を促進する補助事業では、多くの子育て世帯の転入・定住の促進、世代間の助け合いにつなげてきましたが、事業開始から3年目となる今年度で終了し、今後はセーフティネットづくりの視点から子育て・介護施策との連携や既存住宅の流通促進等の取組みを引き続き進めます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	豊中市内のサービス付き高齢者向け住宅の登録住戸数	担当課調査	戸	1,532	1,575	1,605	数値	1,700
		考え方、定義、算出方法など						年	2025
2	参考	分譲マンション管理セミナー参加者数	担当課調査	人	-	43	48	数値	100
		考え方、定義、算出方法など						年	2025
3	参考	住まいと暮らしの相談件数	担当課調査	人	211	117	50	数値	20
		考え方、定義、算出方法など						年	2025
4	参考	住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録戸数	担当課調査	戸	1,168	1,222	1,273	数値	1500
		考え方、定義、算出方法など						年	2025
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	高齢者の居住の安定確保に関する法律、マンションの管理の適正化の推進に関する法律、租税特別措置法 等
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	サービス付高齢者向け住宅登録要綱、住宅マスタープラン、マンション管理適正化推進計画 等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	48,451	人件費（参考）	34,506	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	48,451	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	10,341
	決算額	46,393		地方債	0
	残額	2,058		その他 特定財源	0
	執行歩合	95.75%		一般財源	36,052

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計		
						(コード)	目	
予算管理事業	地域優良賃貸住宅【継続】	0	0	0	0	01	住宅管理費	
	住宅相談・啓発事業【継続】	37	0	0	37	01	住宅企画費	
	住宅施策企画調整事務【継続】	0	0	0	0	01	住宅企画費	
	空き家対策事業【継続】	23,038	10,341	0	12,697	01	住宅企画費	
	租税特別措置法に基づく確認書等交付事務【継続】	0	0	0	0	01	住宅企画費	
	住宅セーフティネットの推進【継続】	7,334	0	0	7,334	01	住宅企画費	
	三世代同居・近居支援事業【継続】	15,387	0	0	15,387	01	住宅企画費	
	マンション管理適正化推進事業【新規】	597	0	0	597	01	住宅企画費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	市営住宅施設運営管理	区分	継続
施策の方向性	(2) 社会環境の変化に応じた住まいの確保を支援します	総合計画掲載ページ	77
担当部局・課	400100 都市計画推進部・住宅課		
関連部局・課	103000 法務・コンプライアンス課 262000 債権管理課 263000 施設課 330500 福祉事務所 331000 障害福祉課 332000 長寿安心課		

事業概要	<p>○住宅に困窮している低額所得者等を対象とする市営住宅の適切な運営管理を図ります。</p> <p>○市営住宅の適切な維持管理、居住性が低下した住宅の改善、ユニバーサルデザインやバリアフリー化の推進等を図ります。</p> <p>○市営住宅等の施設の効用を最大限に発揮するために、施設の効率的・効果的な運営を図ります。</p> <p>○豊中市営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅の効率的な維持・更新を行うとともに、市営住宅の既存ストックを長期的に有効かつ適切に活用するため、長寿命化を図ります。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○市営住宅の適切な維持管理（随時）、入居者募集（5・9・1月実施）、家賃の決定（2月実施）・徴収（随時実施）、入居者の異動管理（随時実施）を行いました。</p> <p>○指定管理者において、基本協定・年度協定に基づく業務が適正に行われるよう調整等を行うとともに、多様化する管理業務をより効率的かつ適正に行いました（随時実施）。</p> <p>○市営住宅の家賃滞納者について、建物明渡し等を求める訴訟提起1件行い、和解となりました。</p> <p>○市営住宅の相続人不存在である单身死亡者について、建物明渡し等を求める訴訟1件提起し、強制執行を行いました。</p> <p>○居住環境の維持と安全性を確保するため、予防保全を目的とする改修工事及び緊急的な修繕を適切に行いました。（市：三国住宅（第Ⅲ期）、小曽根住宅、二葉第2住宅の外装工事、岡町北住宅3棟のEV改修工事、螢池北住宅のEV改修設計委託、指定管理者：随時実施）</p> <p>○【新規】西谷住宅建替事業の実施に向けて、公民連携手法アドバイザー業務委託（令和4・5年度）を実施し、当年度は、実施方針の公表及び事業者選定に向けた要求水準書（案）の作成を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○指定管理者による運営管理を実施することで、状況に応じた修繕や自治会等からの要望などに柔軟に対応することができました。また、住宅確保に特に配慮が必要と思われる子育て世帯などに対しては、入居予定選定時の抽選において優遇措置を講じました。指定管理者制度の活用により、民間の住宅管理に関するノウハウを吸収するとともに、市民サービスの向上と経費の抑制に努めることで、引き続き効率的・効果的な市営住宅の運営管理を図ります。</p> <p>○早い段階での納付指導の成果で訴訟等に至る前に解決するケースが多く、訴訟等の件数は減少しています。口座振替や住宅扶助費の代理納付を促進するとともに、催告書等の毎月送付や面談による聞き取り調査等で把握できた生活・収入状況を踏まえた納付指導を行うことにより、納付意識の向上に取り組みます。これらの取組みにもかかわらず滞納の解消が見込めない場合には、訴訟等法的措置を取ります。</p> <p>○優先順位をつけて計画修繕を実施しましたが、本来の長期修繕計画より遅延しています。「豊中市営住宅長寿命化計画」に基づき、年次計画通りに事業を推進し、事業の平準化、緊急対応的な事後保全の回避、予防保全を目的とする改修・改善を行うとともに、建替事業を適切に実施することで、建替えによる集約化も視野に入れながら、長期的な市営住宅の維持管理費の抑制を図ります。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	家賃収納率（現年度分）	担当課調査	%	99.58	99.79	99.43	数値	99.8
	考え方、定義、算出方法など	目標値：指定管理者にインセンティブ（報奨金）を与える水準として設定した数値							
2	参考	明渡し訴訟件数	担当課調査	件	1	2	2	数値	3
	考え方、定義、算出方法など								
3	参考	生活保護受給者家賃代理納付率	担当課調査	%	62	81	79	数値	82
	考え方、定義、算出方法など	数式：代理納付件数÷生活保護受給者数（小数点以下四捨五入）							
4	参考	家賃口座振替加入率	担当課調査	%	61	64	64	数値	65
	考え方、定義、算出方法など	数式：家賃口座振替件数÷入居者数（小数点以下四捨五入）【参考】入居者の14%は代理納付者（納付書払い）							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	公営住宅法、住宅地区改良法、住生活基本計画（全国計画）等
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	市営住宅条例、市営住宅条例施行規則、豊中市営住宅長寿命化計画、市営住宅家賃等滞納整理要領 等

【決算説明情報】

（単位：千円）

予算・決算額等	予算額（当初）	965,229	人件費（参考）	43,821	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	991	公債費（参考）	67,560	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	978,119	財源内訳の 決算額の 訳	国・府支出金	79,951
	決算額	849,799		地方債	0
	残額	128,320		その他 特定財源	420,426
	執行歩合	86.88%		一般財源	349,422

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		市営住宅施設運営管理【継続】	443,637	24,854	0	7	01	住宅管理費
	市営住宅施設管理【継続】	1,415	0	0	660	01	住宅管理費	
	市営住宅長寿命化計画の推進【継続】	895	0	0	0	01	住宅管理費	
	市営住宅施設運営管理（訴訟費）【継続】	464	0	0	464	01	訴訟費	
	市営岡町北住宅1・2棟整備事業【完了】	0	0	0	0	01	住宅整備費	
	市営住宅整備事業【継続】	396,470	51,898	0	344,572	01	住宅整備費	
	事務費（住宅整備費）【継続】	1,365	0	0	1,365	01	住宅整備費	
	市営西谷住宅整備事業【新規】	5,553	3,199	0	2,354	01	住宅整備費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	境界確定事業	区分	継続
施策の方向性	(3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	262500 財務部・資産管理課		
関連部局・課	233000 公園みどり推進課 431000 基盤管理課 600400 学校施設管理課		

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○公共用地と民有地の境界を確定することにより、公共用地の適切な管理や有効活用に貢献します。 ○地籍調査事業を実施することにより、災害復旧時の迅速化や測量費用軽減等の市民サービスの向上を図ります。 ○公共用地の境界確定や地籍調査事業に関する情報を管理・更新するために、適切なシステムの運用を行います。
当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○公共用地との境界確定事業については、336件行いました。 ○地籍調査事業については、第七次国土調査事業十箇年計画（国土調査促進特別措置法）に基づき、小学校用地を含む大黒町1丁目（0.11km²）において実施しました。 ○システムを活用し、境界確定図の写しを6,351件発行しました。

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○境界確定事業により、公共用地の適切な管理や有効活用に貢献しました。 ○地籍調査事業の成果を利活用することにより、災害復旧時の迅速化や市民サービスの向上につなげるとともに、学校用地の測量費の低減を行いました。引き続き、第七次国土調査事業十箇年計画や庄内地域における魅力ある学校づくり計画と連携しながら、事業を実施します。また、成果の利活用の促進のため、新たなシステムを導入します。 ○専門的な業務であることから、職員の人材育成や技術の継承が課題です。
--	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	地籍調査の地区面積	第七次十箇年基本計画	Km ²	0.08	0.11	0.11	数値	1.13
		考え方、定義、算出方法など						年	2029
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	国土調査法、地籍調査作業規程準則
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	公共用地境界確定協議事務取扱要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	18,731	人件費（参考）	60,183			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	18,731	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	9,887		
	決算額	15,053		地方債	0		
	残額	3,678		その他 特定財源	1,759		
	執行歩合	80.36%		一般財源	3,407		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
境界確定事業【継続】		413	0	0	0	01	財産管理費
地籍調査【継続】		12,814	9,887	0	2,927	01	財産管理費
明示システムの運用【継続】		1,826	0	0	480	01	財産管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	開発・建築行政にかかる審査会の運営	区分	継続
施策の方向性	(3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	77
担当部局・課	400500 都市計画推進部・都市計画課		
関連部局・課	402500 開発審査課 403000 建築審査課		

事業概要	<p>○開発許可等への不服申し立てを審理し裁決を行うために、開発審査会の事務局として、運営に係る事務を行います。</p> <p>○建築許可に関する同意や建築確認等への不服申し立てを審理し裁決を行うために、建築審査会の事務局として、運営に係る事務を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○都市計画法に基づく審査請求がなかったため、開発審査会の開催はありませんでした。</p> <p>○建築審査会を3回開催し、建築基準法の規定により同意を求められた案件と審査請求の審理、裁決を行いました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○開発許可行政の適正な運営の確保に寄与しています。</p> <p>○開発審査会は都市計画法第78条第1項に基づき設置された市の附属機関であり、事務局として運営に係る事務を円滑に進めていきます。</p> <p>○建築確認行政の適正な運営の確保に寄与しています。</p> <p>○建築審査会は建築基準法第78条第1項に基づき設置された市の附属機関であり、事務局として運営に係る事務を円滑に進めていきます。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	建築審査会開催数	担当課調査	回	3	4	3	数値	
	考え方、定義、算出方法など	建築許可に関する同意や建築確認等への不服申し立てを審理し裁決を行うもの。							
2	参考	開発審査会開催数	担当課調査	回	0	1	0	数値	
	考え方、定義、算出方法など	開発許可等への不服申し立てを審理し裁決を行うもの。							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	開発審査・指導事業	区分	継続
施策の方向性	(3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	77
担当部局・課	402500 都市計画推進部・開発審査課		
関連部局・課	200100 経営計画課 212000 産業振興課 230100 環境政策課 230500 家庭ごみ事業課 233000 公園みどり推進課 233500 事業ごみ指導課 332300 (保健所衛生管理課) 400500 都市計		

事業概要	<p>○地域の特性を踏まえた土地利用・住環境整備の総合的・計画的推進のため、開発事業等の協議・指導、許可・検査を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○都市計画施設等の事業の円滑な施行を確保するため、建築行為等に対し、法律等に定められている許可基準の審査を行いました。</p> <p>○都市計画法や豊中市土地利用の調整に関する条例に定められているまちづくりの基準、開発許可基準の指導及び審査を行い、現場確認や完了検査で安全な宅地が形成されているか確認を行いました。</p> <p>○宅地造成等規制法に定められている許可基準の指導及び審査を行い、完了検査等で安全な宅地が形成されているか確認を行いました。</p> <p>○建築基準法に定められている位置指定道路の指定基準の指導及び審査を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○民間事業者等の建築行為等に対し、都市計画施設の整備等と併せて一体的に取り組んでいきます。</p> <p>○民間事業者等の開発行為等に対し、良好な都市環境整備を誘導するために指導及び審査等継続して取り組んでいきます。</p> <p>○安全な宅地形成と宅地災害のない安全なまちづくりを推進し、良好な宅地の供給に寄与するため、指導及び審査等継続して取り組んでいきます。</p> <p>○危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制するための宅地造成等規制法の法改正がされるため、このことに伴う諸手続きを関係部局と共に進めていきます。</p> <p>○未接道の敷地に対し位置指定道路の構築を誘導することにより土地の有効利用が図れ、市街地の整備、まちの活性化に寄与するため、指導及び審査等継続して取り組んでいきます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	都市計画法53条許可件数		件	11	10	9	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	都市計画法29条許可件数		件	35	34	28	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	宅地造成等規制法8条許可件数		件	5	11	11	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	道路位置指定件数		件	4	8	5	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	建築基準法審査・指導関連事業	区分	継続
施策の方向性	(3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	77
担当部局・課	403000 都市計画推進部・建築審査課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○「住んでみたい、住み続けたいまちづくり」の実現に向け、良質な住宅ストック、良好な市街地環境の維持・継承を推進するため、建築基準法等の法令や条例に基づく制度を適正に運用し、また市民や事業者等に対する助言・指導を通じて、市民の生命、健康及び財産の保護を図るとともに、周辺環境と調和した秩序ある土地利用を促進します。</p>
当該年度の実績	<p>○土地利用の更新や建築の機会をとらえてまちづくりに関する助言・指導を行いました。 ○長期優良住宅の認定申請された建築計画に対して、認定基準に基づき審査を行い、認定しました。 ○建築物省エネ法に基づく届出された計画に対して、建築物エネルギー消費性能基準に基づき審査し、受理しました。 ○吹付けアスベスト調査及び除去補助の申請はありませんでした。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○まちづくりに関する助言・指導を行い、良好な住環境の形成につながりました。 ○長期優良住宅の認定を行うことで、良質な住宅ストックの確保につながりました。 ○建築物省エネ法に基づく届出を審査し、受理することで建築物のエネルギー消費性能の向上につながりました。 ○吹付けアスベスト補助制度の申請者が手続きの際、何度も来庁する必要があることが、申請件数の少なさに至る課題の一つと捉え、電子申込システムで提出できるようにしました。また、引き続きホームページを利用しての周知を行っていきます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	建築行為等届出件数	担当課調査	件	1,286	1,308	1,191	数値	年
		考え方、定義、算出方法など	土地利用の調整に関する条例による手続き。届出計画に対して必要な措置を助言・指導することができる。						
2	参考	長期優良住宅建築等計画の認定件数	担当課調査	件	360	446	472	数値	年
		考え方、定義、算出方法など	長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた優良な住宅の建築や維持保全計画を認定するもの。						
3	参考	建築物省エネ法に基づく届出件数	担当課調査	件	107	74	62	数値	年
		考え方、定義、算出方法など	建築物省エネ法に基づく手続き。建築物の省エネ性能の向上を図るためのもの。						
4	参考	吹付けアスベスト調査補助件数	担当課調査	件	0	2	0	数値	年
		考え方、定義、算出方法など	アスベスト調査にかかる費用の補助を行うことにより、吹付けアスベスト飛散防止対策の推進を図るもの。						
5	参考	吹付けアスベスト除去補助件数	担当課調査	件	1	0	0	数値	年
		考え方、定義、算出方法など	吹付けアスベスト除去工事の費用の補助を行うことにより、吹付けアスベスト飛散防止対策の推進を図るもの。						

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	建築基準法、長期優良住宅の普及の促進に関する法律、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	土地利用の調整に関する条例、吹付けアスベスト調査補助金交付要綱、吹付けアスベスト除去補助金交付要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	7,974	人件費（参考）	109,350	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	74	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	8,048	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	6,278		地方債	0
	残額	1,770		その他 特定財源	6,269
	執行歩合	78.01%		一般財源	9

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		建築基準法審査等事業【継続】	1,491	0	0	0	01	建築開発指 導費
	アスベスト対策事業【継続】	9	0	0	9	01	建築開発指 導費	
	建築指導事業【継続】	4,778	0	0	0	01	建築総務費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	違反建築物等指導事業	区分	継続
施策の方向性	(3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	77
担当部局・課	403500 都市計画推進部・建築安全課		
関連部局・課	030100 危機管理課 232500 美化推進課 233000 公園みどり推進課 400100 住宅課 400500 都市計画課 403000 建築審査課 431000 基盤管理課 431500 基盤保全課 562000 予防課		

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○良好な住環境を形成、継承するために、違反建築等の未然防止、啓発、早期発見、是正指導等を行うことで秩序ある土地利用を誘導します。また、周辺の住環境に影響を及ぼす管理不全空き家について適切な維持管理の啓発、助言、指導を行い安全安心なまちづくりをめざします。 ○「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」による届出書を提出させることにより、建築物の分別解体や建設廃材等の再資源化を推し進める取組みに寄与します。
当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○定期パトロールを実施し、中間・完了検査の受検、違反建築等の未然防止の啓発を行いました。また、通報や相談等により確知した管理不全空き家について、所有者等に適切な維持管理の助言、指導を行いました。 ○課税通知書に啓発チラシを同封することで、空き家の適切な維持管理の啓発を行いました。 ○「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」による対象建設工事の届出の受付業務や無届工事等の違反行為の指導等を行いました。また、環境関連部局と年2回の合同パトロール、庁舎ロビーでのパネル展を実施しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○建築現場の定期パトロールを実施することで、中間・完了検査受検の啓発、違反建築等の発生抑止を図りました。また通報や相談等により確知した管理不全空き家について、所有者等に適切な維持管理の助言や指導を行うことで、管理不全空き家の改善、解消を図りました。今後も、定期パトロール等を通じ、中間・完了検査受検や、無確認増築等法的手続きの遵守を啓発し、良好な住環境の整備を進めるとともに、管理不全空き家の改善、解消に向け関係部局と情報共有や連携を図りながら啓発、助言、指導を行い、安全安心なまちづくりをめざします。 ○課税通知書に啓発チラシを同封することで空き家の適切な維持管理の啓発を促しました。今後も空き家所有者の意識啓発を継続して取り組みます。 ○「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」による対象建設工事の届出の受付業務や無届工事等の違反行為の指導、環境部局との合同パトロールやパネル展を行うことで、建築物の分別解体や建設廃材等の再資源化を推し進める取組みを行いました。今後も、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」による対象建設工事の届出事務を通じ、環境部局と連携しながら年2回の合同パトロール、パネル展を行うとともに、無届工事等の違反行為の指導等を行い、建築物の分別解体や建設廃材等の再資源化を推し進めるよう取り組みます。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	違反建築物等の発生抑止に資するパトロールの実施件数	担当課調査	件	464	457	342	数値	500
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
2	参考	違反建築防止週間パトロール件数	担当課調査	件	60	62	33	数値	60
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
3	参考	建設リサイクル届出件数	担当課調査	件	762	745	746	数値	650
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	建築基準法、空家等対策の推進に関する特別措置法、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市空家等対策の推進に関する特別措置法施行細則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,381	人件費（参考）	42,930	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,381	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	654		地方債	0
	残額	727		その他 特定財源	0
	執行歩合	47.36%		一般財源	654

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		違反建築物等指導業務【継続】	641	0	0	641	01
	建設リサイクル届出事業【継続】	13	0	0	13	01	建築開発指導費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	中高層建築等調整事業	区分	継続
施策の方向性	(3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	77
担当部局・課	404000 都市計画推進部・中高層建築調整課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○良好な近隣関係を保持し、地域における住環境の保全及び形成に資するために、中高層建築物等の建築等に係る紛争の予防及び調整等に関する条例に基づき中高層建築物等の建物の概要や工事中の対策などの情報を提供させるとともに助言・指導を行います。</p> <p>○自立支援型福祉社会の実現に資するために、大阪府福祉のまちづくり条例に基づき、高齢者等が安全かつ容易に利用できる都市施設に整備されるよう事前協議を行います。</p> <p>○公共の福祉の増進に資するために、バリアフリー法に基づき、高齢者等の施設利用の利便性や安全性の向上を促進する認定を行います。</p> <p>○良好な生活環境の保全に寄与するため、ラブホテル建築規制条例に基づきラブホテルの建築規制に関して助言・指導を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○中高層建築物等を建築する建築主に、近隣住民に対する建築計画等の事前説明を十分に行わせるとともに、円滑な話し合いを促進させるために指導・調整を行ないました。あっせんの申出件数は0件でした。</p> <p>○大阪府福祉のまちづくり条例に規定する都市施設を設置する事業者と、すべての人たちにとって安全で利用しやすい施設をめざし事前協議を行いました。</p> <p>○バリアフリー法に基づく認定申請は0件でした。</p> <p>○ラブホテル建築規制条例に基づく旅館等建築計画届出は0件でした。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○中高層建築物等の事前説明等を親切・丁寧で、的確に行わせることにより双方の話し合いが促進され、紛争の未然防止が図られました。条例に規定する届出等の手続きとともに、紛争を未然に防止するための調整や指導などの業務を継続して行います。</p> <p>○大阪府福祉のまちづくり条例に基づく建築物移動等円滑化基準に沿って、都市施設の整備について事前協議を行うことにより、高齢者等の日常生活などの移動に対する安全性や施設の利便性の向上を促すことができました。自立支援型福祉社会の実現に資する事前協議を継続して行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	標識設置届出書件数	担当課調査	件	30	42	43	数値	
	考え方、定義、算出方法など	中高層建築物等の建築等に係る紛争の予防及び調整等に関する条例に基づく標識設置届出書							
2	参考	あっせん申出件数	担当課調査	件	0	0	0	数値	
	考え方、定義、算出方法など	中高層建築物等の建築等に係る紛争の予防及び調整等に関する条例に基づくあっせんの申出							
3	参考	都市施設設置工事事前協議書件数	担当課調査	件	5	7	8	数値	
	考え方、定義、算出方法など	大阪府福祉のまちづくり条例に基づく事前協議書							
4	参考	認定申請書件数	担当課調査	件	0	0	0	数値	
	考え方、定義、算出方法など	バリアフリー法に基づく認定申請書							
5	参考	旅館等建築計画届出書件数	担当課調査	件	0	0	0	数値	
	考え方、定義、算出方法など	ラブホテル建築規制条例に基づく旅館等建築計画届出書							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府福祉のまちづくり条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市中高層建築物等の建築等に係る紛争の予防及び調整等に関する条例、豊中市ラブホテル建築規制条例

【決算説明情報】

（単位：千円）

予算・決算額等	予算額（当初）	1,143	人件費（参考）	37,503	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,143	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	8		地方債	0
	残額	1,135		その他 特定財源	0
	執行歩合	0.70%		一般財源	8

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		中高層建築物調整事業【継続】	8	0	0	8	01	建築開発指導費
	ラブホテル建築規制事業【継続】	0	0	0	0	01	建築開発指導費	
	大阪府福祉のまちづくり関連事業【継続】	0	0	0	0	01	建築開発指導費	
	バリアフリー法認定事業【継続】	0	0	0	0	01	建築開発指導費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	住民主体のまちづくりの推進	区分	拡充
施策の方向性	(3) まちの魅力として継承される住環境づくりを進めます	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	400500 都市計画推進部・都市計画課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○地域におけるまちづくりの必要性やその取り組みへの理解を深めるため、まちづくりに関する情報提供や啓発を行います。</p> <p>○住民等が自発的に取り組むまちづくり活動の支援を行います。</p> <p>○まちづくり協議会が提案したまちづくり構想の実現にむけた活動の支援を行います。</p> <p>○地区の特性に応じたまちづくりを誘導するため、地区計画制度等の活用を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○まちづくりセミナーをオンラインで2回開催しました。情報誌「まちづくり手帖」を3回発行しました。</p> <p>○まちづくりセミナーのオンライン開催により、第33回まちづくりセミナーでは過去最高の参加者数170名を記録しました。当日参加できなかった申込者を対象にYouTubeで動画の限定配信を行いました。</p> <p>○【拡充】住民主体の地区まちづくり活動を推進し、良好な住環境の保全・形成につながりました。新支援制度を活用し、地区まちづくり活動団体の登録および地区まちづくりルールの登録を各1件行いました。</p> <p>○まちづくり協議会（豊中・岡町）の運営委員会に出席するなどの活動支援を行いました。</p> <p>○まちづくり協議会等まちづくりに係る活動を行っている団体を対象とした「まちづくり懇話会」を開催し、団体間のつながりの醸成を行いました。</p> <p>○新千里北住宅地区の地区計画を変更し、建築条例を改正しました。</p> <p>○既存の地区計画によりグループホームの立地ができなくなっている2地区で住民説明会を開催しました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○まちづくりセミナーや情報誌の自治会回覧などにより、より多くの人へまちづくりの情報提供を行うことで、より身近な事例を広く市民に紹介し、まちづくりへの意識向上につながり、まちづくりに関する制度の活用が促進されました。</p> <p>○永楽荘地区の地区まちづくりルールの登録により、住環境の保全およびまちの景観の保全に寄与しました。</p> <p>○住民が主体となる地区まちづくり活動を促進するために、市民への情報提供や啓発を継続的に実施します。特に、地域の新たなまちづくり活動の担い手となる人材の発掘につながるよう、わかりやすく身近な内容の情報誌やセミナーの企画を行います。</p> <p>○今後もまちづくり構想の実現化に向けた取組や、良好な住環境の維持形成に向けた取組を支援します。</p> <p>○関係部局と連携し新支援制度を広く周知し、多様な地区まちづくり活動の支援や啓発活動とあわせて市民主体のまちづくり活動の推進に取り組みます。</p> <p>○既存の地区計画によりグループホームの立地ができなくなっている4地区の地区計画の変更及び建築条例の改正に取り組みます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	まちづくり活動団体数	担当課調査	組織	3	3	4	数値	5
	考え方、定義、算出方法など	地区まちづくり条例に規定された登録団体等の数							
2	目標	まちづくりセミナー参加者数	担当課調査	人	65	144	244	数値	200
	考え方、定義、算出方法など	延べ参加人数							
3	目標	まちづくりのルール件数	担当課調査	地区	44	45	45	数値	46
	考え方、定義、算出方法など	地域特性を活かした秩序あるまちづくりのルールの策定件数(新規策定のみ区域拡大は件数含まない)							
4	目標	まちづくりのルール区域面積	担当課調査	ha	322.63	332.93	337.66	数値	340
	考え方、定義、算出方法など	地区計画や都市景観形成推進地区などの土地利用に関するまちのルールが定められた地区の区域面積							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	都市計画法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	地区まちづくり条例、豊中市土地利用の調整に関する条例、豊中市地区まちづくり推進助成要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	6,298	人件費（参考）	35,640	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	6,298	財源内訳 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	1,360		地方債	0
	残額	4,938		その他 特定財源	0
	執行歩合	21.59%		一般財源	1,360

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		まちづくり団体活動支援事業【拡充】	427	0	0	427	01	都市計画総務費
	まちづくり啓発活動事業【継続】	933	0	0	933	01	都市計画総務費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	都市景観形成の推進	区分	継続
施策の方向性	(4) まちの魅力を高める都市景観づくりを進めます	総合計画掲載ページ	78
担当部局・課	400500 都市計画推進部・都市計画課		
関連部局・課	230100 環境政策課 403000 建築審査課		

事業概要	<p>○良好な都市景観づくりを推進するため、景観計画、都市景観条例、風致地区内における建築等の規制に関する条例、屋外広告物条例及びこれらの関係法令に基づき指導、監督を行います。</p> <p>また、都市景観形成マスタープランに基づき、豊中市の景観スポットの発信と共有、景観に関心を持つ人材の育成に向け啓発活動、重点地区指定に向けた地元啓発・支援を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○景観法・都市景観条例に基づく景観指導について、建築物151件、工作物9件、広告物1件、開発行為23件、合計184件の届出対象行為に対して、指導、助言を行いました。</p> <p>○都市景観デザイン相談について、4月、5月、9月、10月の計4回実施し、7件の事業者に対して助言指導を行いました。</p> <p>○風致地区内の許可申請対象行為42件に対して、許可を行いました。</p> <p>○屋外広告物許可申請435件に対して助言指導の上、許可を行いました。</p> <p>○景観形成推進事業について、3年ぶりに新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していた中高生景観まちあるきを再開し、中学生78名、高校生13名の参加がありました。また、令和3年度に実施した都市景観表彰事業の都市デザイン賞・まちなみ市民賞受賞物件の巡回パネル展を市有施設6か所で実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○景観法・都市景観条例に基づく景観指導を215項目実施した結果、60項目の改善がありました。引き続き事業者による届出対象行為について、積極的に助言指導を実施して、周辺景観に配慮した計画の誘導を行ってまいります。</p> <p>○都市景観デザイン相談の開催回数について、令和3年度の9回に対して、令和4年度は大規模計画や、周辺景観に大きな影響を及ぼす計画が少なかったため4回の開催となりました。今後においても、事業規模に依らず、計画内容や周辺景観の状況から必要に応じて専門家であるデザイン相談員の知見を活用して、周辺景観に配慮した事業計画となるよう誘導してまいります。</p> <p>○風致地区内における建築等の許可について42件許可を行いました。規制・基準の審査と併せて適切に指導・監督を実施することで、風致の維持だけでなく周辺景観に配慮した事業計画の誘導につながりました。</p> <p>○屋外広告物許可申請435件について許可を行い、適正な屋外広告物の設置を誘導して、良好な都市の景観の形成につなげました。</p> <p>○景観啓発について、表彰事業巡回パネル展を実施した他、中高生景観まちあるき（中学生78名、高校生13名）や景観スケッチ講座スケッチ展（講座14名、スケッチ展319名）を実施し合計424名の参加者数を数え、新型コロナウイルス感染拡大がつづく社会情勢のもと、これまでの景観啓発の効果を維持して、効果的に豊中市の景観をつくり、まもり、そだて、いかす取り組みにつなげました。今後は、次年度から新たな参加型イベントを実施し、幅広い世代への景観啓発を図ります。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	景観計画区域内の行為の届出件数	担当課調査	件	80	140	184	数値	100
	考え方、定義、算出方法など	届出件数						年	2022
2	目標	都市景観デザイン相談	担当課調査	回	6	9	4	数値	10
	考え方、定義、算出方法など	デザイン相談開催回数						年	2022
3	目標	風致地区内行為許可件数	担当課調査	件	59	54	42	数値	50
	考え方、定義、算出方法など	許可件数						年	2022
4	目標	屋外広告物許可申請件数	担当課調査	件	481	393	435	数値	300
	考え方、定義、算出方法など	許可件数						年	2022
5	目標	景観意識啓発イベント参加者数	担当課調査	人	349	1,261	424	数値	350
	考え方、定義、算出方法など	イベント参加者数						年	2022

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	4, 120	人件費（参考）		48, 600		
		流用増減額（予備費充当用含む）	0	公債費（参考）		0	
	予算現額（当初+補正+繰越+流用）	4, 120	財 源 内 訳 の	国・府支出金	0		
	決算額	2, 487		地方債	0		
	残額	1, 633		その他 特定財源	2, 217		
	執行歩合	60. 36%		一般財源	270		
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	景観法・都市景観条例に基づく景観指導【継続】	236	0	0	236	01	建築開発指導費
	都市景観デザイン相談【継続】	166	0	0	0	01	建築開発指導費
	風致地区内行為許可業務【継続】	34	0	0	34	01	建築開発指導費
	屋外広告物許可申請事業【継続】	698	0	0	0	01	建築開発指導費
	都市景観形成推進事業【継続】	1, 353	0	0	0	01	建築開発指導費



3-5 産業振興の充実

地域社会を支えてきた産業のさらなる振興を図るとともに、企業立地の促進に取り組めます

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)地域産業の活性化による都市のにぎわいづくりを進めます	1事業
①産業振興のための企業立地の促進	
②事業者ごとの強みを活かしたビジネスモデルの構築支援	
③地域での連携を活かした中小企業の経営基盤の強化	
産業振興事業	都市活力部 産業振興課
(2)新たな事業の創出や担い手の育成を支援します	1事業
①地域産業の活性化に向けた起業・創業支援	
創業支援事業	都市活力部 産業振興課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	産業振興事業	区分	拡充
施策の方向性	(1) 地域産業の活性化による都市のにぎわいづくりを進めま	総合計画掲載ページ	80
担当部局・課	212000 都市活力部・産業振興課		
関連部局・課	030100 危機管理課 104500 デジタル戦略課 160100 人権政策課 201500 創造改革課 210100 魅力文化創造課 211500 空港課 230100 環境政策課 233000 公園みどり推進課 260500 固		

事業概要	<p>○新・産業振興ビジョンでは、「産業が地域社会を支え、生活を豊かにする好循環を生むまち」を本市産業のめざす姿としています。これは、市内産業のさらなる集積に加え、個々の事業者と労働者一人ひとりの生産性や事業所の経営力、商業集積地の集客力の向上を図ることで地域経済の好循環を形成し、自律発展・成長する都市をめざすものです。</p> <p>○本市では、この産業のめざす姿を実現するために、①「産業の集積をつくる」、②「地域経済の好循環をつくる」、③「まちに活力とにぎわいを生み出す」の三つの基本方針に基づき、施策展開を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>[大規模小売店舗立地法関係] ○大規模小売店舗立地審議会：1回</p> <p>[企業人権啓発関係] ○豊中企業人権啓発推進員協議会総会・講演会：1回、とよなか人権文化まちづくり協会との交流会：1回</p> <p>[企業立地促進事業] ○立地促進奨励金：25件、産業振興を図る重点エリアの拡大（令和5年4月指定）、人材確保促進補助金の創設、チャレンジ事業補助金の人材確保促進環境整備費の上乗せ補助の新設</p> <p>[産業振興・消費喚起関係] ○BCP（事業継続計画）作成に係る事業者向けセミナー：1回、ITコンシェルジュ派遣：220回</p> <p>○特定中小企業者の認定書：737件、資金繰りの負担軽減及び市内商業団体の事業支援を図る各種補助の実施</p> <p>○産業振興審議会：2回、売上アップ応援金：55件、【新規】商品高付加価値化応援金：29件、【新規】IT機器導入補助金：15件、【新規】ものづくり人材育成支援補助金：申込みなし</p> <p>○【新規】プレミアム付家計応援券（紙・デジタル）の発行、【拡充】デジタル地域ポイント事業：11月開始</p> <p>[情報提供関係] ○メールマガジン等による国・府・市などの施策の情報発信</p> <p>[中小企業チャレンジ関係] ○【拡充】チャレンジ事業補助金：4件、展示会等出展支援補助金：16件、経営状況等を把握する事業者向けアンケート：1回</p> <p>○産業フェア：中止（新型コロナウイルス感染拡大のため）</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○前年度に続いて、2か所目の重点エリアの指定にかかる合意形成を図りました。事業所の安定的な操業環境を維持・形成するとともに、住工混在問題を防止するため、今後も重点エリアの拡大の取組みを推進します。</p> <p>○プレミアム付家計応援券（紙・デジタル）を活用した消費喚起により、約38億円が市内還流するなど地域経済の活性化につながりました。一方、商品券（応援券）を利用した事業は期間限定の取組みのため持続的な産業振興につながらないことから、今後は市独自の地域通貨（マチカネポイント）を活用し、継続的な地域経済の活性化とキャッシュレス化の促進、市民の市政参加意識の向上に取り組めます。</p> <p>○豊中商工会議所と連携して実施したITコンシェルジュ派遣の事業では、相談のあった事業者に220回派遣し、ITの専門家であるITコンシェルジュが解決策を提案することで、事業者の抱えるIT課題の解決やデジタル化の促進につながりました。しかし、当該派遣事業と連動するIT機器導入補助金においては、IT機器導入に向けた事業者ニーズと補助内容に乖離があったため利用件数は15件に留まったことから、事業者にとって利用しやすい補助金となるよう制度を見直します。事業者のより良い業務遂行環境の構築にIT化は必要不可欠であることから、引き続き、事業者のIT化促進に向けた取組みを推進します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	企業立地奨励金の新規指定件数	担当課調べ	件	5	4	2	数値	5
	考え方、定義、算出方法など	「企業立地施策」による成果を図る指標							
2	参考	マチカネポイントの付与総額	担当課調べ	円	-	-	9,827,230	数値	
	考え方、定義、算出方法など	デジタル地域ポイント事業（令和4年度開始）におけるマチカネポイント付与総額							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市新・産業振興ビジョン・豊中市企業立地促進計画・豊中市企業立地促進条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	609,206	人件費（参考）	73,710	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△18	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,824,161	財源内訳の	国・府支出金	1,386,546
	決算額	1,673,277		地方債	0
	残額	150,884		その他 特定財源	0
	執行歩合	91.73%		一般財源	286,731

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		豊中商工会議所関係業務【継続】	17,250	64	0	17,186	01
	企業立地促進事業【継続】	117,343	0	0	117,343	01	商工業振興費
	情報調査提供事業(産業関連)【継続】	657	0	0	657	01	商工業振興費
	企業人権啓発事業【継続】	1,973	0	0	1,973	01	商工業振興費
	大規模小売店舗立地法関係事業【継続】	2,576	909	0	1,667	01	商工総務費
	とよなか産業フェア【継続】	0	0	0	0	01	商工業振興費
	チャレンジ事業補助関係【拡充】	7,245	0	0	7,245	01	商工業振興費
	産業フェア(ビジネスマッチング関連)【継続】	1,635	0	0	1,635	01	商工業振興費
	中小企業チャレンジ支援事業【継続】	8,447	0	0	8,447	01	商工業振興費
	産業振興補助金事業【継続】	3,541	0	0	3,541	01	商工業振興費
	金融支援事業【継続】	2,533	0	0	2,533	01	中小企業金融対策費
	産業振興事業【継続】	251	0	0	251	01	商工業振興費
	売上アップ応援事業【継続】	18,123	14,065	0	4,058	01	商工業振興費
	消費喚起事業【拡充】	291,449	289,988	0	1,461	01	商工業振興費
	商品高付加価値化応援事業【新規】	7,681	0	0	7,681	01	商工業振興費
	ものづくり人材育成支援事業【新規】	0	0	0	0	01	商工業振興費
	IT機器導入補助金事業【新規】	1,375	0	0	1,375	01	商工業振興費
	プレミアム付家計応援券【新規】	1,191,198	1,081,520	0	109,678	01	商工業振興費
	デジタル商品券(家計応援券)【新規】	0	0	0	0	01	商工業振興費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	創業支援事業	区分	新規
施策の方向性	(2) 新たな事業の創出や担い手の育成を支援します	総合計画掲載ページ	81
担当部局・課	212000 都市活力部・産業振興課		
関連部局・課	300500 くらし支援課		

事業概要	<p>○新・産業振興ビジョンの基本方針③「まちに活力とにぎわいを生み出す」に基づき、コロナ禍の影響により変容した生活様式や働き方にも対応しながら、市場ニーズ・動向を踏まえた商品開発や販売戦略など事業者の新たなチャレンジを応援するとともに、起業支援体制の充実、フリーランスといった多様な働き方の支援等により、「個が活躍する場づくり」を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○地域の中小企業者等を支援する拠点であるとよなか起業・チャレンジセンターの運営を通じて、会員起業家を支援するとともに、起業を志す人への創業支援、セミナーの開催（2回）、相談対応（157回）等を実施しました。</p> <p>○とよなか起業・チャレンジセンター運営業務の委託先事業者を公募し、令和5年度の新たな運営事業者を選定しました。</p> <p>○とよなか起業・チャレンジセンターを庄内駅前庁舎に移転しました（令和5年4月運用開始）。</p> <p>○創業後間もない事業者及び創業予定者の新たなビジネスチャレンジを支援するため、チャレンジ事業補助金にスタートアップ支援コースを新設しました（令和5年4月制度開始）。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○とよなか起業・チャレンジセンターでは、起業や経営に関する相談を受けるとともに、各種セミナーを開催することで起業を志す人や事業者への支援につながりました。</p> <p>○とよなか起業・チャレンジセンターについては、令和5年度から庄内駅前庁舎に移転し、新たな事業者への運営委託を開始するなど体制を一新します。運営体制は変わりますが、これまでの寄り添い型の創業支援を維持しつつ、新たに少人数制の経営塾の実施や次世代の起業家育成のための子ども起業体験などを取り入れながら、今後も引き続き事業者のチャレンジの応援や起業支援に取り組めます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	180 令和9年度
1	目標	相談対応件数	担当課調べ	件	103	125	157	数値年	180 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	「とよなか起業・チャレンジセンター」で実施した支援策の成果を図る指標							
2	目標	セミナー開催回数	担当課調べ	回	12	2	2	数値年	12 令和9年度
	考え方、定義、算出方法など	「とよなか起業・チャレンジセンター」で実施した支援策の成果を図る指標							
3								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市新・産業振興ビジョン

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	15,795	人件費 (参考)	4,536	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	15,795	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	15,723		地方債	0
	残額	72		その他 特定財源	0
	執行歩合	99.54%		一般財源	15,723

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
とよなか起業・チャレンジセンター 【継続】	15,723	0	0	15,723	01	商工業振興費

予算管理事業